

# 精神保健福祉

みやまき



## 表紙説明

### 宮崎市青島「鬼の洗濯岩」

約1000万年から800万年前の地層(硬さの違う砂岩と泥岩)が浸食により独特な形状へと変化した岩。あたかも大きな洗濯板のように見えることから「鬼の洗濯岩」と呼ばれて、昭和9年5月1日に国の天然記念物に指定されています。

# 笑いの効果

宮崎県精神保健福祉連絡協議会会長 三山吉夫

昔から、“笑う門には福きたる”という言葉があります。ここ数年、お笑い番組がブームのようです。わたしが楽しみにしている番組に“笑いがいちばん”というNHKの番組があります。また、新春に大声で笑いころげる祭りがおこなわれているのをテレビで見たことがあります。昨年、小林でおこなわれた宮崎県精神保健福祉大会では、特別講演に“参加型落語”を楽しませてもらいました。怒っているよりも笑っているほうが楽しいことは誰でもわかっています。楽しそうに笑っている人の表情をみて腹がたつ人はいないと思います。笑いの科学では、笑うと体の免疫力がたかまり、脳にもよい影響を与えられていると言われています。この免疫力の高まりには、笑うとナチュラルキラー（NK）細胞の増えることが証明されています。この細胞は、ガン細胞をやっつけたり、ガンを予防する作用があるといわれています。そのほか笑いの効果には、さまざまな病気の予防や改善に役立つことが科学的にも証明されています。身近な効果としては、便通がよくなる、ストレスの解消、血糖値や血圧を下げる、仕事の能率をあげる、よく眠れる、老化防止などが証明されています。ある病院では、院長先生が落語の勉強をされ、治療の一環として入院中の患者さんに病院寄席を楽しんでもらうことで、回復の効果をあげているということです。つまり、よく笑う人ほど健康になれるということです。笑うことによって、脳では血液の流れが活発になり体の中枢に働きかけ、脳を活性化し病気に対しても有効なことが証明されつつあります。

さて、あなたは普段よく笑うほうですか？わたしたちは、どうやら笑いを忘れかけているような気がします。赤ちゃんのときは、純真無垢な笑いができたのに、大人になるとなかなか笑えなくなるようです。ストレスの多い社会で生活しているわたしたちは、ややもすると暗く沈んでしまいます。ゆううつな気分では、脳も体も元気に動くことができません。笑うところではないといいたくなるような出来事が多い時世ですが、くよくよしてもはじまりません。毎日、笑う習慣をつければ、病気になりにくい若々しい生活が送れそうです。笑いは、人とのコミュニケーションにも効果的で人を健康にします。

障害者自立支援法が施行され、それまでよりも支援が厳しくなったことで、運用上の改善を求める声が多く聞かれます。精神科病院に長く入院していた人を地域や社会で支援する方向で政策は進んでいます。障害者の自立と共生社会の実現に向かった方針は正しいと思いますが、現実には、支援のための施設を利用する人や支援する事業所の負担が大きくなっている状況があります。このままでは、障害者の自立と共生社会の実現に逆行することになりかねないため、障害者やその家族は不安を抱えている現状があります。障害者の方々は、これからどうなるだろうかと心配し、暗く沈んでしまうことにもなりかねません。このような時、地域や社会が笑顔で障害者を迎えてくれたら、障害者やその家族はほっとすることでしょう。障害者やその家族に安心感を持ってもらうことが、支援の第一歩であると思うのです。笑顔にあふれた地域や社会が、こころ豊かな福祉につながると考えます。“笑い”は、自分の心の問題でもあります。“面白いことがないから笑えない”などといわないで、毎日の挨拶のときの笑みなど、平素から笑いに心がけましょう。なんでも面白いと感じるものに接して、大いに笑ってみてください。人の顔には表情筋といわれる筋肉があります。大きく口をあけて、顔全体の筋肉をほぐす習慣は笑いやすくすることといわれます。一日に何回笑えたか、時々振り返ってみるのもこころの健康の秘訣です。思うようにならないことが多いのが“憂き世”です。“笑う門には健康きたる”です。大いに笑いましょう。



# 目 次

巻頭言 笑いの効果 宮崎県精神保健福祉連絡協議会 会長 三山 吉夫 .....	1
第46回宮崎県精神保健福祉大会(平成18年度開催) ～笑って笑って ころも笑う 笑顔いっぱい しあわせいっぱい～ .....	5
アトラクション ～西諸からの歌や踊りのおもてなし～ 出演団体紹介 .....	6
大会宣言 スローガン .....	7
特別講演 ライブ落語 会場とのコラボレーション 爆笑「客席参加型落語」 講師 桂 三風 .....	8
平成18年度精神保健福祉事業功労者 宮崎県知事表彰(5名) .....	11
宮崎県精神保健福祉連絡協議会会長表彰(9名) .....	13
宮崎県精神科病院協会会長表彰(15名) .....	15
宮崎県精神保健福祉連絡協議会会長表彰受賞者の声 医療法人十善会県南病院 地域生活支援センターWing センター長 中村 敏子 .....	18
小林市レクリエーション協会会長 宇都 ミヨ .....	19
ボランティア 下村 ノリ子 .....	20
第6回宮崎県障がい者スポーツ大会(平成18年度開催) .....	21
第6回宮崎県障がい者スポーツ大会に参加して スポーツ大会感想文(ミニバレーボール) 谷口病院デイケア K・Y .....	22
スポーツ大会の感想文(グラウンド・ゴルフ) 西都病院デイケアAチーム .....	22
西都病院デイケアBチーム .....	22
県障がい者スポーツ大会を振り返って(ミニバレーボール) 協和病院デイケアやすらぎA 中山 .....	23
県障がい者スポーツ大会について(ミニバレーボール) 協和病院デイケアやすらぎA 盛夫 .....	23
九州・沖縄精神障害者スポーツ大会(第5回)(バレーボール競技) .....	24
九州・沖縄精神障害者スポーツ大会に参加して .....	24
「夢の舞台を目指して」 江南よしみフェニックスクラブ AK	

各地域精神保健福祉協議会の動き	
宮崎地域精神保健福祉協議会 .....	25
日南地域精神保健福祉協議会 .....	26
都城北諸地域精神保健福祉協議会 .....	27
西諸地域精神保健福祉協議会 .....	28
西都児湯地域精神保健福祉協議会 .....	29
日向入郷地域精神保健福祉協議会 .....	30
延岡地域精神保健福祉協議会 .....	31
西臼杵地域精神保健福祉協議会 .....	32
精神障がい者支援組織・グループの動き	
「特定非営利活動法人宮崎県精神障害者家族会連合会」第1回定期総会を終えて .....	33
宮崎県精神障害者家族会連合会会長 長友 信夫	
社団法人宮崎県断酒友の会 .....	34
第1回ルピナスフォーラムを終えて .....	35
宮崎県精神障害者団体連合会（ルピナス倶楽部）会長 川本 英樹	
地域で活動する自助活動グループ等の紹介	
「ギャンブル（パチンコ・スロット等）依存症」自助グループ G A 都城 .....	36
Alcoholics Anonymous（アルコホーリクス・アノニマス）	
AAの宮崎県北部の活動状況 .....	37
障がい者の就労促進に取り組む事業所	
はぐるま工房 代表 長嶺 佳子 .....	38
有限会社 東九農園 .....	39
カンナ工房施設長 工藤 慶子 .....	40
宮崎県精神保健福祉連絡協議会 賛助会員の最近の取り組み	
医療法人恵喜会西都病院 認知症治療疾患病棟 .....	41
医療法人悠生会吉田病院 在宅支援サービスのご紹介 .....	42
宮崎県精神保健福祉連絡協議会だより	
主な行事の開催（平成18年度） .....	43
平成18年度事業実績 .....	44
平成19年度事業計画 .....	45
平成19年度新たにスタートする新規事業 .....	46
宮崎県精神保健福祉連絡協議会 役員名簿 .....	47
宮崎県精神保健福祉連絡協議会 会員名簿 .....	48

## 第46回 宮崎県精神保健福祉大会

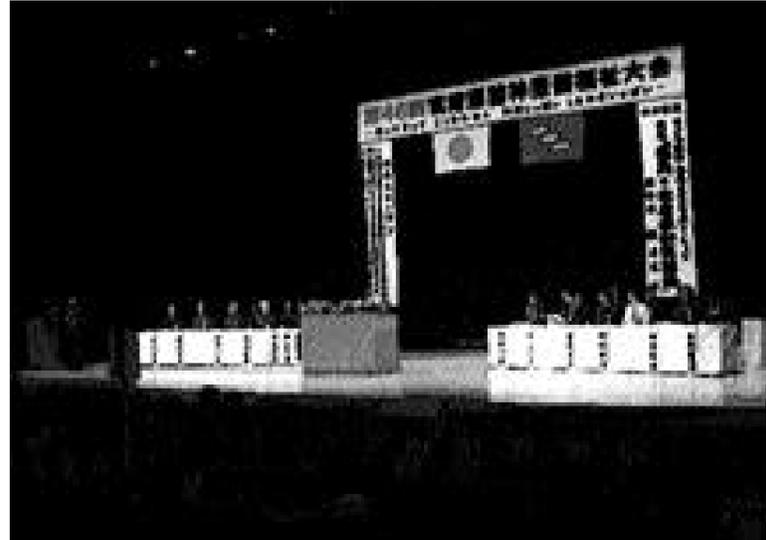
～笑って笑って ころも笑う 笑顔いっぱい しあわせいっぱい～

1 開催日時 : 平成18年10月12日(木)  
正午～午後3時30分

2 会場 : 小林市文化会館

3 参加者数 : 1,271名

4 大会内容 :



### (1) プロローグ

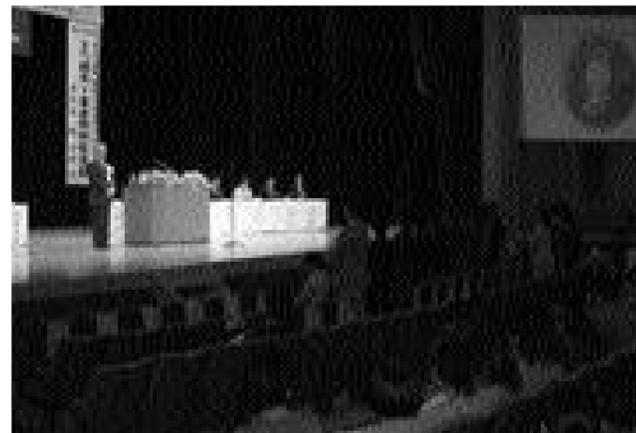
映像と音楽「ほっとする音楽&西諸の映像」

式典前の30分間、大会テーマを感じていただけるよう、西諸の人・もの・環境の素晴らしさをスクリーン映像による風景写真と音楽で綴る。

### (2) 表彰

宮崎県知事表彰	8名受賞
宮崎県精神保健福祉連絡協議会会長表彰	11名受賞
宮崎県精神科病院協会会長表彰	15名受賞

受賞者名を読み上げる際、受賞者の笑顔を、ステージ両サイドに設置したスクリーンに映し、会場全体で祝福。



### (3) 特別講演

ライブ落語 会場とのコラボレーション

爆笑「客席参加型落語」 落語家 桂 三風 氏

### (4) アトラクション 西諸からの歌や踊りのおもてなし

「にしもろ (笑) 語り劇」	小林おもしろ発見塾
「踊り: さあさ みんなで どっこいしょ」	三松保育園
「スポーツレク リフレッシュGo」	野菊の里
「ハンドベル演奏2曲&ガッツイサンバ」	ふれあいの里
「ゴスペルソング」	上田浩恵&宮崎ゴスペルクワイヤ小林
「唄も心もひとつになって」	ほたるの会&ボランティア合唱団
	会場全員の皆様と一緒に



## アトラクション～西諸からの歌や踊りのおもてなし～ 出演団体紹介

爆笑の特別講演に続き、西諸地域の様々な団体が、歌や踊り、劇で更に会場を盛り上げました。

### おもしろ発見塾 「にしもろ (笑) 語り劇」

小林の歴史や文化、地域資源などを調査研究し、新たな発見を楽しんでいます。多くが仕事を持った上で、仕事の後や休日に活動しています。創作劇を含めての研究会を開き、地域住民の方達に小林のおもしろさを伝えています。



### 三松保育園 「踊り・さあさ みんなでどっこいしょ」

周辺の豊かな自然環境の中、川遊びやスケートなど様々な活動を体験しながら、達成感を味わい自信をつけ、自分で考えて行動できるようになっていきます。「生きる力をもった心豊かな子どもの育ち」を願い、園と家庭が協力して日々取り組んでいます。ばら組さんとゆり組のみんなで楽しく元気に踊りました。

### 野菊の里（身体障害者療護施設）

#### 「スポーツレク：斉太郎節・手のひらを太陽に」

開設以来30年になります。毎週金曜日にスポーツレクリエーションを行っています。内容はリズム体操、ゲーム、歌を歌ったりと活動の最初から最後までいつも笑いが絶えず、にぎやかな雰囲気です。リズム体操の野菊の里バージョンを思い切り楽しんで披露しました。



### ふれあいの里（知的障害者授産施設）

#### 「ハンドベル2曲&ガッツイサンバ」

「いきいき笑顔はみんな輝く」をモットーにいつも皆が光り輝いています。施設では、木工、農園、菓子製造、委託作業などをみんなで力を合わせて取り組んでいます。クラブ活動の一貫のハンドベルは毎週水曜日に練習し、レパートリーは15曲程あります。今回は元気を表現したガッツイサンバを発表しました。

### ほたるの会（精神障害者当事者グループ）

#### 「唄も心ひとつになって」

平成17年5月に発足し、今年で2年目を迎えました。活動日は毎月1回、第3木曜日です。活動内容は調理実習やカラオケ、郊外への外出などを行っています。今回は「しあわせなら手をたたこう」を歌いました。



### 上田浩恵&宮崎ゴスペルクワイヤ小林 「みんなで歌ってみませんか？」

上田浩恵さんの主宰で、平成18年3月に発足しました。小林市では、毎週火曜日に細野中学校そばの「いろりの里」で楽しく練習しています。譜面が読めなくても、音が多少外れても自分らしくお腹の底から声を出して歌うと、帰る時にはなんだか心も体もスッキリです。アトラクションパートナーとして上田浩恵さんをむかえ、大きな声で会場と一緒に歌いました。

# 大会宣言

本日、ここ小林市において『笑って笑って 心も笑う 笑顔いっぱい しあわせいっぱい』をテーマに、第46回宮崎県精神保健福祉大会を開催いたしました。

私たちを取り巻く社会は、ストレスや経済的要因などにより心身の病気や自殺する人が増加する傾向にあるなど、心身の健康を保つことが非常に重要となってきています。このような中、これまでは障害の種類別に提供されていた福祉サービスや公費負担医療などの一元化を目的の一つとして、障害者自立支援法が施行されました。障害のあるなしに関係なく安心して暮らせる社会や、心身が通い合う社会の実現など、私たちがこれまで強く求めてきた対策を、更に進めていく必要性が増してきていると考えられます。

本大会には、県内各地から多くの地域住民の方々が参集し、地域が持つ「受容力」と「支援力」を高めることにより、精神障害者が地域の一員として、笑顔と幸せに つつまれて暮らせる社会づくりをめざしていくことを確認しました。

以上のことを踏まえながら、私たちは、本大会において次の3つのスローガンを掲げ、その実現に向けて活動していくことを宣言します。

## 【スローガン】

- 1 笑顔あふれる心身の健康づくりにつとめよう
- 2 自然な思いやりにつつまれる地域をつくろう
- 3 誰もが自立し楽しんで参加できる社会をめざそう

平成18年10月12日  
第46回宮崎県精神保健福祉大会



特別講演 ライブ落語 会場とのコラボレーション  
爆笑「客席参加型落語」

講師 桂 三 風

宮崎県精神保健福祉大会にお招き頂きましてありがとうございます。大阪からやってきました桂三風と申します。どうぞよろしくお付き合いください。

私、結婚式の司会をよくやっていますから分かりますけども、そりゃ、再婚・再々婚というのは意外と多いですなあ。それで今日は結婚をテーマに、皆さんを客席参加型落語にご案内します。今日、皆さんは小林市の文化会館にいらっしゃいますが、ひとときは結婚式場に来ているような気分で一緒に落語を聞いていただきたいと思います。ですから乾杯をするときは同じように乾杯をしていただいて、ご挨拶の方が出てこられたらご挨拶の方に拍手を送り、ご挨拶が終わったら拍手をして送り出してあげる、ということをやっていただきたいと思います。で、万歳三唱は同じように万歳をやっていただきたいと思います。

さあ、皆さん方を結婚式にご案内していきますけれども、今日皆さんが出席している結婚式は初婚の方同士じゃないのです。バツ1・バツ2の多い時代でございますから、新郎が4回目でございます。(笑)新婦はおそらく何回もしていると思いますけども、まあそんな結婚式でございますね。だから初婚同士だったら緊張してカチコチになっているんでしょうが、そんなもん慣れたもんですな。前の奥さんとの間にできた子供の手を引きながら、背中に赤ちゃんをおぶりながら、どうもどうも、まいどまいど言っとる。(爆笑)えらい結婚式でございますけど、それではお二方が揃われたところで、お仲人ご夫妻をご紹介申し上げまして、お二方の人となりを伺っていきたくと思います。お仲人様は新郎のおじ様、細川隆一郎様、まさ子様ご夫妻です。大きな拍手でお迎えください。(会場大きな拍手)

「仲人の細川でございます。今回仲人を引き受けさせていただきましたが、前回はさせていただきます。前回はさせていただきます。(爆笑)ああ、前々回、その前も正直言って今回は4回目でございます。4回も新郎の経歴聞かんでもよろしいでしょう。新婦の方もどうなるやらわかりませんし。いや私ね、断ったんですよ、そんな仲人立てない時代に何で仲人にこないこだわるんやと聞きましたら、今回を打ち止めにしたい、と申しておりました。今度は大丈夫やと思います。大丈夫やと思いますけど、万が一の時は次回から持ち回りでお願いいたします。ご結婚おめでとうございます。」(会場拍手)ありがとうございます。続きましてご来賓を代表されましてご新郎側より、ご新郎の勤務先上司大阪カメラ営業部長、中村秀雄様にご登場していただきます。拍手でお迎えください。(会場拍手)「中村でございます。まず前回寄せていただきましたときは、大阪カメラ営業課長でございましたが、この度昇進をいただきまして、これも皆様方のお陰と厚く御礼申し上げます。前回寄せて頂きました時、ラジオとカメラと一緒にいたしましたラジカメの売れ行きがいいと申しておりましたが、今回我が社ではカメラと万年筆を合体させましたカメマンネンを発売(笑)しております。これが売れるといいんですけど...あ、健一郎さんご結婚おめでとうございます。次回も是非呼んでいただきますように。おめでとうございました。」(会場拍手)

なんかほとんど自分の会社の宣伝ばかりしていかれたように思います。続きまして新婦側を代表されまして、高校時代の恩師小林正一郎様にご登場していただきます。大きな拍手でお迎えください。(会場拍手)

「小林でございます。わしゃ新婦が高校に入学してきた当時に校長をしておりました。新婦は入学当時から非常にファッション感覚に優れた生徒でした。いつも短いスカートを愛用し靴下をルーズに履きこなし、髪の毛を真っ茶に染め顔を山んばのように塗りたくりいろんなところに穴を開けてる生徒でございました。自由奔放な生徒でね、登下校の時間は自分で決めていらっしゃいました。



(爆笑)足の速い生徒でした。体育祭の花形でもう足が速い速い。こんな足の速い生徒は今まで見たことがない、と警察の方が嘆いておりました。(爆笑)まあそんなこんなでご結婚おめでとうございまーす。(会場拍手)

ありがとうございました。なんやわけのわからん挨拶でございました。それではこのあたりでウェディングケーキご入刀へのご案内していきたいところでございますが、お二人の希望と致しまして、もうケーキは切り飽きたと申しておりますので、割愛させていただきまして、早速ではございますが、乾杯の方にうつらせていただきたいと思います。乾杯のご発声は高校時代からのご友人、西村透さんでございますが、拍手の量が若干減ってきているように思います。(笑)一つ大きな拍手でお迎えくださいませ。西村さんです。(会場大きな拍手)

「おめでとうございます。僕は健一郎君とは高校時代、勉強でもスポーツでも何一つ負けたことが無かったです。結婚の回数は負けました。お前はすごいね、もうこうなったらギネス目指して何回もやってください。応援します。またええ人いたら紹介しますから。おめでとうございます。それでは健一郎君・由美さんの旅立ちを祝いまして乾杯の音頭をとらさせていただきます。グラスを手にご準備をお願いいたします。」「健一郎君・由美さんご結婚おめでとうございます。乾杯!」(会場乾杯の声)拍手ありがとうございます。只今より祝宴の部の開演でございます。どうぞご両家からの心づくしのお料理、そしてお祝いのお酒、存分に酔いしれていただきたいと思います。しばらくの間はゆっくりとご歓談の時間です。

「おいおい、腹立つな。」「何で?」「腹立たへんか、4回目やて。4回祝儀とつとんのや。(笑)再婚する度に嫁はんべっぴんになつとる。野郎!何が腹立つゆうたらこれが一番腹立つ。嫁はんどんどんようになっていってんのに、料理どんどん悪うなってる」(笑)「一番最初に来た時はフランス料理のフルコースやった。」「そうそう、あのワインがうまかったなあ。」「フランス直輸入のワインやったな。何杯もおかわりしたな。」「2回目がせこーい会席料理屋やったがなあ。」「3回目覚えてる?幕の内弁当やったや。」(笑)「4回目こんなあるか、おい。披露宴にハヤシライスだけや。」(爆笑)「司会者も司会者や、ご両家の心づくしのお料理がハヤシライスかおい。」「ごゆっくりお召し上がりください、すぐ食えるちゅうんや。」(笑)

それでは、お食事中ではございますが、ハネムーンのご予定を申し上げます。お二人は明日、関西国際空港から世界一周の旅に向かわれます。

「世界一周、そんな金あるんやったら、このハヤシライスなんとかしてよ。」(笑)

是非関西国際空港へお見送りをお願いします。

「行かんところな。」「行こう。」「お前行くんか。」「行こう、行こう。行ってワーと胴上げしたろう。胴上げして4回目に落としたり。」「悪い相談がおこっております。

さあ、あくる日の関西国際空港です。どうも皆さん、お集まりいただきましてありがとうございます。健一郎君・由美さんの旅立ちを祝いまして、万歳三唱をさせていただきます。私、神崎と申します。よろしくをお願いします。それではいきますよ。皆さんよろしいでしょうか。健一郎君・由美さんご結婚おめでとうでございます。万歳!万歳!万歳!

やったあ。(拍手)誰やあれ、朝もはやから輪の中に入って万歳、万歳ゆうてる神崎という男、あれ何者や。あ、あれ新婦の前の婿さんや。(爆笑)

ありがとうございます。これが客席参加型落語ということで、お客さんと一緒に遊ぶような落語を考えたわけでございますけども、とにかく笑うということは健康に非常によろしゅうございます。まあ、あのサプリメントを飲んだり、ジョギングをしたりとかいうような健康も大事でございますが、心の健康は何よりも笑いでございます。是非また落語を聞いていただきますように。今日はどうもありがとうございました。(拍手)



## 講師

---

# 桂 三風

落語家



### プロフィール

#### 人物・特徴

桂三枝師匠に入門。創作落語をやりながら、あくまでも、ライブにこだわり、演者と客席が一体となって楽しめる、史上初の『客席参加型落語』を生み出す。また、2000年からは小学生に落語の楽しさを知ってもらう為に、全国の小学校を訪ねて落語ワークショップを展開している。

#### 職歴・経歴

1961年6月26日生まれ。滋賀県出身。本名は竹田俊英（たけだとしひで）。1984年に桂三枝師匠に入門。師匠桂三枝が、「落語会の新しい風になれ！」と願ってつけた名前。風刺の効いた創作落語やショート落語が持ち味。「よりお客さんに楽しんでもらおう、もっとお客さんに落語の世界に入ってもらい、演者と客席が一体となって新しい落語を創りだそう」そう考えてあみ出したのが落語界初、三風オリジナル史上初の『客席参加型落語』である。ライブ（生）には映像で伝えきれない空気があり、また感動をももたらせてくれ、それらはいつまでも温かく心に残る。テレビの一方通行の笑いではなく、ライブの良さは、同じ空間に自分もお客さんも存在していることの楽しさを味わうこと。ならば存在感だけでなく落語の中に参加してもらおう！と新スタイル『客席参加型落語』を生み出した。参加すればするほど楽しい、落語の中の人物になったような気にもさせてくれると大好評。「関西だけでなく全国に広めたい！！」三風の野望は、全国を馳せる。すでにこの新風を巻き起こすスタイルは、商標登録済みでもある。

# 平成18年度精神保健福祉事業功労者

## 宮崎県知事表彰

氏名	住所	所属 職種	功績概要
たかみや まき 宮 真樹	宮崎市	(医)真愛会 宮病院医師	<p>昭和60年から、高宮病院の医師として勤務し、病院の目指す地域治療共同体の推進に力を注ぎ、他医療機関や福祉施設との連携により、精神障害者の治療や社会復帰を図り、精神保健福祉全般の向上に貢献している。</p> <p>また、精神保健指定医として、精神科病院入院患者の病状審査医、精神科病院実地指導医として公益性の高い業務に従事している。</p> <p>さらに平成16年6月から宮崎県精神科病院協会理事に就任、平成18年6月からは、同協会副会長として、県内の精神科病院の指導的役割を果たしてきている。</p>
もとみず けんじ 元水 健次	日南市	(医)同仁会 谷口病院 精神保健福祉 士・病棟看護師 長	<p>昭和57年から、日南市の谷口病院に看護師として勤務し、昭和60年からは、認知症疾患センター、重度治療病棟にて、精神科ソーシャルワーカーとして、相談援助の業務に従事し、患者や家族の信頼を得てきた。平成6年からは、生活訓練施設、授産施設、地域生活支援センターの施設長を歴任し、活動の場を病院から施設、さらに地域へと拡大し、日南市の地域精神保健福祉活動の中心となり、精神障害者の社会復帰、社会参加に尽力してきた。近年は、院内外において、後輩の人材育成に貢献してきている。</p>
せい いわお 清 岩男	新富町	グループホーム 青空世話人 (牛乳販売店代 表)	<p>平成3年度から、高鍋保健所におけるデイケアのレクリエーションやミニバレー等のスポーツ活動の講師として精神障害者と継続した交流を図っており、現在も当事者のレクリエーション活動をボランティアとして支援中である。</p> <p>平成11年度からは、県立富養園家族会が設立したグループホームの世話人として、当初から障害者と共に生活している。共同生活の中で障害者に、お互いを助けあう気持ち、思いやりの心、様々な経験を重ねて自立していく大切さを気づかせ、社会復帰に導いている。</p> <p>また、県社会適応訓練事業の協力事業者として、精神障害者の訓練生を受入れ、共に作業しながら障害者の就労支援に取り組んでいる。</p>

氏 名	住 所	所 属 職 種	功 績 概 要
い き み よ こ 吉岐美代子	日向市	ひまわり共同 作業所・指導員 日向市ひまわり 家族会代表の妻	<p>昭和61年、自宅敷地を提供し、精神障害者小規模作業所「ひまわり共同作業所」を夫とともに開所する。指導員として、自ら工夫し細やかな作業を指導するとともに、通所者たちのよき相談相手として作業所をまとめ、四季折々のレクリエーション等を計画・実施するなど、現在も作業所の向上に積極的に関与している。</p> <p>また、昭和62年に夫とともに日向市に精神障害者地域家族会「日向市ひまわり家族会」を結成し、家族会の一員として、その運営に尽力してきている。</p> <p>地域においても、地区の行事に積極的に参加し、住民と精神障害者の架け橋となっており、これらの努力は、地域の精神保健福祉への普及啓発に大きく貢献している。</p>
く どう け い こ 工藤 慶子	延岡市	社会福祉法人 藤慶会 授産施 設カンナ工房施 設長	<p>平成10年から、身体障害者婦人芽ばかり作業所に精神障害者の受入れを図り、翌11年には身体・知的・精神すべての障害者を受け入れるための芽ばかり第2福祉作業所を開設した。</p> <p>精神障害者を受け入れる中で、精神障害者の社会復帰のためには小規模作業所が重要な場所であると気づき、平成12年に精神障害者小規模作業所カンナ工房として再スタートした。</p> <p>平成16年には同施設の社会福祉法人化に尽力し、社会福祉法人藤慶会授産施設カンナ工房を設立。施設長として細やかな作業指導はもちろんのこと、作業外でも、コーラス等の音楽活動を取り入れるなど、豊かな人間関係づくりに配慮している。通所者や家族からの信頼も厚く、延岡市の障害者福祉のリーダー的存在である。</p>

## 宮崎県精神保健福祉連絡協議会会長表彰

氏 名	住 所	所 属 種 職	功 績 概 要
<small>なかむら としこ</small> 中村 敏子	串間市	医療法人十善会 地域生活支援センターWing  施設長	<p>昭和38年に宮崎県庁に入庁以来、保健師として37年間、本県の精神保健福祉事業に従事し、平成12年に退職後も、学校法人宮崎南学園宮崎保健福祉専門学校の教務として精神保健福祉士の育成に携わる。また、ボランティアとして南郷町・串間市の精神障害者家族会の役員を引き受け、その活性化を図るための支援を続けることで、会員からも厚い信頼を得ている。</p> <p>平成17年からは、精神障害者地域生活支援センターwingの施設長として、その指導力と温厚な人柄で、当該センターを地域に於ける精神障がい者の憩いの場・活動の拠点として位置づける等、その活動は、後に続く者の模範となるものである。また、地域生活支援センターにおいて学生やホームヘルパー実習を積極的に受け入れることにより、精神障がい者の理解と支援の輪の広がりにも貢献している。</p>
<small>くぎざき はるお</small> 釘崎 春男	都城市	農業	<p>都城市あおぞら地域家族会結成後の昭和63年4月にその育成に当たるため役員や監査役に就任し、会長を補佐するとともに、精神障がい者の社会復帰に向けて尽力を続けている。</p> <p>併せて、精神障がい者に関する正しい知識の普及啓発のために、公民館活動並びに文化祭行事等に積極的に参加して、地域住民より信頼を得るとともに感謝されている。</p> <p>このような活動を続けることで、精神障がい者の自立と社会参加並びに精神保健福祉事業の発展に多大に貢献している。</p>
ボランティアグループ ゆう  (代表者 <small>つるた</small> 鶴田 ハルエ)	都城市	-	<p>グループメンバー30名は、精神障がい者への理解と支え方などを身につけるための研修を受講しながら、平成10年4月から、都城市精神障害者在宅支援センターほのぼのサロンにて、毎日(土・日を除く)支援活動を続けている。</p> <p>主な支援活動としては、食改善料理、華道、茶道、ミニバレーボール、手芸、踊り等を通じて、精神障がい者に心のゆとりと生活上の心の支えになっており、関係者(特に、一人暮らしの方々)から感謝されている。</p>
<small>くわはら ふさこ</small> 桑原 房子	小林市	ボランティア	<p>長年にわたり、保健所デイケア活動に裁縫を主とした小物作りの講師として活躍している。講師としての活動に際しては、専門的支援だけでなく、広い視野での見識に基づく広いジャンルの話を当事者と交わすなど、常に温かく楽しい雰囲気づくりに努めた。</p> <p>また、材料となる布はすべて自前の洋服や着物のリサイクルであり、その温かみのある使いやすい作品は、現代では忘れ去られがちな「物を大切に作る心」を当事者に伝えており、当事者の精神的な安定に貢献している。</p>

<p>うらせんけ 裏千家 とのとろしやちゅう 殿所社中</p> <p>(代表者 とのとろ  そうこう 殿所 宗江)</p>	<p>小林市</p>	<p>-</p>	<p>保健所デイケア及び西諸地域精神保健福祉協議会で実施される文化交流会において茶道の作法を障がい者へ分かりやすく教えている。</p> <p>また、文化交流会ではボランティアとして、当事者と共に文化祭来場者への抹茶のもてなしを実施してきている。</p> <p>これらの活動を通して、当事者と強い信頼関係を築くとともに、当事者に大きな自信を与えている。</p>
<p>うと 宇都 三ヨ</p>	<p>小林市</p>	<p>スポーツ指導員</p>	<p>長年にわたり、保健所デイケア活動でのレクレーション及びグランドゴルフの指導を行ってきた。その、テンポの良い指導は、デイケアメンバーにとって元気の素となり、指導日時をメンバーが待ち望むほどである。</p> <p>また、スポーツ大会などメンバーの出場が予定される時は、仕事や私事の都合をつけて、ボランティアとして参加し応援するなどデイケアメンバーとの交流を大切にしている。</p> <p>さらに、うつ状態にある方々からの様々な相談にも対応しているなど、地域の精神保健の向上にも大いに貢献している。</p>
<p>しもむら 下村ノリ子</p>	<p>高鍋町</p>	<p>ボランティア</p>	<p>平成10年より高鍋保健所デイケア事業に、さらに平成18年からは当事者会にボランティアとして参加し、長年にわたって精神障がい者支援に積極的に関わっている。活動の中ではさりげない心遣いと温かな人柄で参加者に安心感を与え、大変慕われており、良き相談相手となるなど信頼が厚い。</p> <p>この他、地域の公民館活動の中で、福祉部長を長年にわたって勤めており、日々の地域活動で機会ある毎に、精神障がい者に対する理解を広めるよう地域住民に働きかけるなど、精神障がい者の社会復帰支援に貢献している。</p>
<p>いしぶち てるこ 石淵 照子</p>	<p>延岡市</p>	<p>製菓業</p>	<p>昭和53年より延岡地域の精神保健福祉協議会（前身の精神衛生協議会を含む）の理事あるいは監事として会員の拡大を図るとともに、協議会の会員としても各種行事に積極的に参加し、関係者から信頼を得るとともに、感謝されている。</p> <p>また、商工会議所の役員として精神保健の普及啓発に努め、精神障がい者の社会参加並びに精神保健福祉事業の発展に多大な貢献をしている。</p>
<p>よしだ きみこ 吉田 公子</p>	<p>延岡市</p>	<p>ボランティア</p>	<p>精神障害者小規模作業所「大瀬作業所」への支援を契機として、通所授産施設「カンナ工房」のボランティアとして積極的に関与し、その通所生の良き相談役を勤めている。また、カンナ工房主催のイベントには、中心的存在として運営に関わり、関係者の厚い信頼を得ている。</p> <p>これまで、一貫してボランティアによる精神保健の普及啓発に努め、精神障がい者の社会参加並びに精神保健福祉事業の発展に多大な貢献をしている。</p>

## 宮崎県精神科病院協会長表彰

氏 名	住 所	所 属 職 種	功 績 概 要
あんざい まさのぶ 安在 正信	高千穂町	准看護師 (国見ヶ丘病院)	32年間にわたり精神科看護に従事してきた。勤勉で責任感が強く、患者や職員からの信頼も厚く、平成14年には病棟師長に任命され、落ち着いた病棟運営に貢献してきた。レク療法、生活療法の責任者として、運動会、盆踊り、温泉旅行など変化のある楽しいレクを計画し実施してきた。長年の経験を生かし後輩職員の指導、育成に努めている。
とみたか 富高たまえ	延岡市	准看護師 (延岡保養園)	約25年間精神障害者の社会復帰へ積極的に尽力してきた。外来婦長職を3年間経験し、現在は病棟主任として患者及び家族からも厚い信頼と尊敬を得ている。また、職員間の信頼も厚く、後輩の育成指導など精神保健の向上に尽力している。
かねまる ひろこ 金丸 弘子	延岡市	准看護師 (吉田病院)	30年間、精神障害者に対する献身的な看護や生活指導等など精神科看護一筋に尽力してきた。温厚で真面目な勤務態度は職員の模範である。現在は、急性期病棟に勤務し豊富な経験と知識で患者の早期社会復帰に貢献している。
いのまた たまみ 猪股 玉美	門川町	准看護師 (田中病院)	入職以来、24年間精神科看護に従事し、患者はもとより、その家族からも信頼が厚く、様々な相談に対応している。 また、若手看護師の教育係としてリーダーシップを発揮している。 さらに、病院機能評価受審にあたっては、書類の整備や業務の見直しに積極的に取り組むとともに、苦情処理委員会のメンバーとして、患者の苦情を業務改善につなげるよう取り組んでいる。
くろぎ みほ 黒木 美穂	日向市	管理栄養士 (協和病院)	20年にわたり栄養士業務に従事してきた。栄養士、調理部門の責任者としてリーダーシップを発揮、業務に精励し、現在主任栄養士として、栄養士、調理師等を統率する等、給食スタッフの要の存在である。豊富な経験、知識を患者の視点に立った献立作りに遺憾なく発揮、好評を得ている。

氏名	住所	所属 職種	功績概要
もとみや 本宮とよか	日向市	看護補助者 ( 鮫島病院 )	<p>19年間忠実に職務を遂行している。看護補助というある意味一番患者に接する機会の多い職種において常に明るく優しく接し患者に慕われており、入職以来勤務態度が真面目で若い職員の手本になっている。</p> <p>また、平成10年には精神科介護士の資格を取得し、最近では介護の合間に趣味のコーラスを生かし患者と一緒に歌ったり、ゲームなどを一緒に楽しんだりして常に患者を気遣い、精神科看護の重要な一翼を担っている。</p>
いなどめ たかこ 稲留 孝子	宮崎市	看護師 ( 宮病院 )	<p>精神科病院看護師として約18年間勤務。平成10年からは病棟主任として後輩の指導にあたる。平成14年にはデイケア室長となり、患者のデイケア参加定着のため、日々のプログラム策定に携わり実績を残した。また、地域生活支援室長を兼務し、訪問看護の活動を発展させた。</p> <p>平成17年からは急性期治療病棟看護師長として、中間管理職の教育に力を注ぎ、成果を上げている。</p>
みぎた 右田 タイ	宮崎市	看護師 ( 井上病院 )	<p>21年の長期にわたり、看護業務に精励し、強い責任感と、常に一貫した優しさで、患者、家族から高く評価されている。また向学心も強く、後輩の教育育成にも貢献している。</p>
まきの えみこ 巻野恵美子	宮崎市	看護師 (宮崎若久病院)	<p>28年の長期にわたり病棟及び外来を通じ、誠実・積極的に精神障害者の看護にあたってきた。また、平成6年には日本精神科看護全国学会佐賀大会で研究発表を行っている。主任として後進の指導に精励するなど、その業績は顕著である。</p>
さかくち 坂口るみ子	宮崎市	看護師 (野崎病院)	<p>21年の長期にわたり精神障害者及び高齢者の看護に従事してきた。その間、経験と知識を積み重ね、後輩の育成と患者・家族の指導に力を注ぎ、中間管理職として管理業務を全うしている。また、医療安全委員会に属し、安全対策に力を注ぐとともに、身体拘束の最小化に努めている。真面目で責任感の強い姿勢は、職員からも信頼が厚く、真摯な勤務態度は後輩のよきモデルである。また、患者・家族が安心して快適な療養生活ができるよう、明るく心に添う看護に努めている。</p>

氏名	住所	所属 職種	功績概要
いまなが しゅうじ 今永 周二	都城市	准看護師 (永田病院)	約30年の長期にわたり、一貫して精神障害者の看護に専念し、特に入院患者の看護、レク療法、生活療法、作業療法等幅広く率先して取り組んでいる。その看護活動は患者及び家族より強い信頼と尊敬を得ており、また、後輩の指導も豊富な経験を生かし適切であるなど、他の模範とするところである。
やまなか 山中フミエ	都城市	看護師 (都城新生病院)	約27年の長期にわたり精神障害者の看護に従事している。平成6年には病棟主任となり、常に患者の快適入院生活の保持、社会復帰に向けた努力をしている。平成8年に外来師長に就任してからもその熱意は変わらず、患者・家族からも人望が厚く、外来部門においても業務の中心的役割を果たしている。
こもた のぶこ 薦田 信子	小林市	検査助手 (小林保養院)	25年の長期にわたり検査室に勤務している。アシスタントとして、誠実に業務遂行することにより、患者の健康管理を側面からサポートしている。なお、平成15年よりリスクマネジメント部会の委員となり、他部署との連携を図りながら、現在医療安全の確保に力を注いでいる。
ごうばる おさむ 合原 修	野尻町	准看護師 (内村病院)	22年の長期にわたり精神科看護業務に精励している。患者に対する適切な指導助言にて病状回復に努め、生活療法、作業療法、SST等にも率先して取り組んでいる。たゆまぬ向上心、勉強意欲を持ち続け患者の社会復帰に大きく貢献するなど、その功績は顕著である。
しみず やすこ 清水 泰子	日南市	看護師 (谷口病院)	21年の長期にわたり精神科看護に従事してきた。誠実で几帳面、責任感の強い性格でありリーダーシップを発揮、師長補佐を経て看護師長の要職についている。患者の社会復帰支援に常に前向きで、家族や関係機関との積極的な関わりを心がけている。また、院内接遇委員会の委員長も務め、精神看護の質の向上に貢献している。

## 宮崎県精神保健福祉連絡協議会会長表彰受賞者の声

医療法人十善会 県南病院  
地域生活支援センターWing  
センター長 中村 敏子

今回この栄えある賞を頂き大変恐縮しています。この賞は私個人のものではなく、これまで一緒に歩いてきてもらった多くの方々の代表としてもらったものと考えています。

南から北へ、そしてまた南へ。6ヶ所の保健所へ動きながらその地域でのいろいろな出会いは、土地柄、生活の場の違いはあってもそこで係わりあった人達に随分育ててもらったと感謝しています。

長い年月が過ぎてそれぞれの時のことを懐かしく思いながら、今なお20余年以上も付き合い合っている人達もあり家族の方も含めての付き合いが仕事は抜きにして好きなのです。

社会の中でもいろいろな動きがあり法の下に福祉サービスのあり方に大きく期待したのですが、明るい兆しはまだまだ遠いようです。これからも地域が元気になって当事者・家族を支えこれまで求めてきたものをさらに強く進めながら皆が安心して暮らせる場を作っていかなければならないと思います。多くの理解者が欲しいのです。当センターでもボランティアの方々の協力が大きな支えになっており、新しいことへの挑戦もやり始めています。微力ながらこれからも皆と一緒に羽ばたいていきたいと思います。

最後にこの精神保健福祉大会ではいつも関係者が多く一般の方々の参加が少ないように見受けられます。「こころの健康づくり」を目指してもっと各地から地域住民の方々の参加を期待したいと思います。

今回表彰される皆様、「心よりおめでとうございます」紙面上にてお祝い申し上げます。

私事、年を重ねながら自主的に都城・西諸地域の福祉施設や老人クラブ、子供達に対するボランティアに頑張っています。時に体調が悪くても現場に行き人それぞれの方達に会うと「ホッ」といたします。

現場では、教えてあげるのではなく、一緒に楽しむ姿勢が不可欠だと思います。時折、マジック等で失敗した時、自分が笑い、皆さんが笑う。介護体操を始めるとそれまで見向きもしなかった方がいつの間にか手足を動かし、笑顔がこぼれている。

人々の目線に立って個性やプライバシーを尊重し、相手を支えられたその時、自分を生かし助けられた、まさに共助だと感じます。そして、自分の力で頑張っていて生きていく、という自助の心を持つことを大切にしております。自分が人のために何かをすることで人が喜んでくれるとき、自分の能力を生かし人の幸せを作り出していると感じるときが、私が人間として一番生きがいを感じる時間なのです。

人という財産に感謝いたしています。



この度、思いがけない賞を頂き誠にありがとうございました。

これといった特技のない私ですが、ある会で耳にした「居るだけでボランティア」そこに居るだけで誰かに何かを与えているとのこと。その思いだけで続けてこれた事が3つあります。

一つ目は保健所のデイケアにH10年から参加していることです。花好きな私は毎回庭に咲いた花を持って行きます。花瓶に挿していると誰彼となく話しかけて下さいます。この花は何という花？いいにおいね、この花は私も好き、等と話が弾みます。優しい気持ちにしてくれる嬉しいひとときです。ちょっとゆっくりして、花を眺めてホッとしましょうと。ボランティア4名は各々の個性で参加しています。

二つ目は、視覚障がい者の方々（アイメイト）との交流です。時々行事のお手伝いを・・・と声がかかりますがボランティアというより、障がいのあるなしを忘れさせる人と人との関わり方、仲間作りを学ぶ楽しい機会です。

三つ目は、地域でふれあいの会活動です。高齢者と青壮年者50名余りの会です。それぞれが出来ることで参加、参加することで元気になれるをモットーに寝たきりにならない為の体操をしたり、音楽を楽しんだり、調理して昼食会をしたり、悩み事を話し助け合ったりします。人は色々なことで悩みます。でも話を聞いてくれる仲間や場所があることで元気になれると思います。

ボランティアをしていることが、実は自分の生活に潤いを与え元気づけているのです。

これからも気負うことなく自然体で少しでも長く続けていけるよう頑張りたいと思います。



# 第6回宮崎県障がい者スポーツ大会

## 1 趣旨・概要

スポーツを通じて障がい者間の交流や連携を広げるとともに、県民の障がい者に対する理解を深めその社会参加を促進することを目的として、平成14年から開催（身体障害者・知的障害者競技のみ）している。第5回大会から、精神科病院や小規模作業所等に通院する精神障がい者等も参加する競技種目（3種目）が新たに加わり、またバレーボールの優勝チームが九州大会に参加し善戦するなど年々発展を続けており、今年の大会も選手・役員等を含め2340名の関係者が参加し盛大に開催された。

2 日 時 平成19年5月13日（日） 午前9時10分～（開会式）

3 場 所 宮崎県総合運動公園・宮崎エースレーン  
（うち精神障がい者関連 総合運動公園武道館・木の花ドーム・青島少年自然の家体育館）

4 主 催 宮崎県、宮崎県教育委員会、宮崎県社会福祉協議会、宮崎県障害者スポーツ協会

## 5 後 援

宮崎県市長会、宮崎県町村会、宮崎県体育協会、日本赤十字社宮崎県支部、  
宮崎県身体障害者団体連合会、宮崎県聴覚障害者協会、  
宮崎県視覚障害者福祉協会、宮崎県難病団体連絡協議会、  
宮崎県手をつなぐ育成会、宮崎県知的障害者福祉協会、  
宮崎県精神保健福祉連絡協議会、  
宮崎県精神科病院協会、宮崎県精神障害者家族会連合会、  
宮崎県精神神経科診療所協会、県立盲・聾・養護学校校長会、  
宮崎県特別支援教育研究連合会、各報道機関

## 6 主 管

宮崎陸上競技協会、宮崎県水泳連盟、宮崎県卓球協会、  
宮崎県アーチェリー協会、宮崎県ボウリング連盟、  
宮崎県バレーボール協会、宮崎県ミニバレーボール協会、  
宮崎県グラウンド・ゴルフ協会、宮崎県フライングディスク協会、  
宮崎県障害者スポーツ指導者協議会

7 参加者数 1491名（選手）（うち精神障がい者関連 460名）

## 8 実施競技・成績（優勝）

ミニバレーボール（6人制） 16チーム・110名参加  
第1パート 虹の丘A（宮崎市） 第2パート やすらぎA（日向市）  
第3パート 井上病院デイケアA（宮崎市）  
第4パート 憩いの杜B（門川町）  
グラウンド・ゴルフ 40チーム・310名参加  
Aコース 精神デイケアA（西都市）  
Bコース 若草クリニックA（宮崎市）  
Cコース 精神デイケアB（西都市）  
バレーボール（6人制） 3チーム・40名参加  
江南よしみフェニックスクラブ（九州大会への出場権獲得）

## 第6回宮崎県障がい者スポーツ大会に参加して

### スポーツ大会感想文（ミニバレーボール）

谷口病院デイケア K.Y

私は、デイケアに通って他のメンバーさんより一番長いですが、ミニバレーをするようになって、最近ようやく上手く出来るようになった気がします。

この大会に出場して、とても緊張してしまいましたが、いつもの力を出せなかったけど、自分のサーブで得点した時は、とても嬉しかったです。また皆のチームワークで総合3位になれたので良かったです。来年こそは、上位をめざして練習に励みたいと思います。



### スポーツ大会の感想文（グラウンド・ゴルフ）

西都病院デイケアAチーム  
日頃の練習の成果が出せた結果だと思えます。これからも、全員で力を合わせ、練習に励み連覇を目指してがんばります。



西都病院デイケアBチーム  
優勝出来た事は本当に嬉しいです。  
普段の調子が出なくて心配していました。  
来年も参加出来る様に練習に励みたいと思います。

“優勝はもらった！！”V

## 県障がい者スポーツ大会を振り返って（ミニバレーボール）

協和病院デイケアやすらぎA 中山

昨年は、ミニバレー大会でフルセットまでもち込み、惜しくも2位でした。今年はどうしても優勝を狙いたく選手全員で昨年の雪辱を果たすべく、デイケアのプログラムにミニバレーを3～4回/月に増やしました。

でも、選手の中で何人かは、作業に行かれており全員がそろう機会はほとんどなく、満足な練習はできませんでした。でも優勝したいという選手の願いが叶い、今年度は2度目の参加で念願の初優勝を果たすことができました。

何事もやればできるということを感じました。来年も優勝を狙いたいものです。

## 県障がい者スポーツ大会について（ミニバレーボール）

協和病院デイケアやすらぎA 盛夫

最初の試合で、サーブが2回とも決まりませんでした。焦りがあり、チームに不安を与えました。

しかし、ストレートで勝ち本当に嬉しかった。昼食は、皆で食べて昼からの試合を勝てば優勝ということを知りました。

仲間のおかげで夢に見た優勝をもぎ取りました。いいお土産を持って帰れました。

スポーツを通じて思ったのですが、何事も最後まで諦めない気持ちが必要だなあ～と思いました。



## 九州・沖縄精神障害者スポーツ大会(第5回)(バレーボール競技)

第5回県大会(平成18年度)優勝チーム「江南よしみフェニックスクラブ」が県代表チームとして参加し、平成19年度全国大会出場権(秋田県)をかけて白熱した熱戦を繰り広げました。

一回戦は福岡県チームにストレート勝ちをしましたが、準決勝で九州優勝チームの佐賀県チームとフルセットの末競り負け、惜しくも全国大会出場を逃しました。

県代表が初めて参加した大会ながら、臆することなく堂々とした試合運びで、選手や関係者に大きな自信と達成感が広がりました。

### 【大会の概要】

平成18年11月16日(木)

大分県別府市総合体育館(べっぴアリーナ)

### 【大会での成績】

対戦チーム「はまゆう」(福岡県)戦 0 - 2 勝利(準決勝進出)

対戦チーム「わんわん」(佐賀県)戦 2 - 1 敗退

## 九州・沖縄精神障害者スポーツ大会に参加して

### 「夢の舞台を目指して」

江南よしみフェニックスクラブ AK

初めての夢の舞台は、白球が手からこぼれ床に落ちる音とともに終わった。

我々江南よしみフェニックスクラブは、今年の県大会のバレーボールの部で優勝し、九州大会への切符を手に入れた。出発の朝、僕達9名は、期待と不安の混じり合った面持ちで、支援センターに集まった。互いに顔を見合うと、遂にこの日が来たという喜びの表情に溢れていた。出発の瞬間バスに乗り込むと周りから、「頑張ってきてよっ」という声が続々とあがり、僕はひそかに大分のお土産は、優勝の二文字にしよう!と心に決めた。

バスの中では、ドラゴンボールのビデオを見て、明日の試合では、皆が超サイヤ人になれば、優勝間違いのないと思っていました。しかし、実際は、一本釣りのマグロの様に、コート上で、ピチピチと転げ回っていました。実は僕達、「メタボレンジャー」だったのです。

試合前日、前祝いにチームの結束を固める為会食をしました。ホテルへ帰り、それぞれの部屋へ入り、我に返ると徐々に緊張感が高まって来ました。近くを通る電車の音が、ドキドキ感を更に高めていきました。その緊張感に耐えられず、歌を歌っている者もいました。「もう恋なんてしないなんてー...」槇原敬之の名曲が空しく暗闇に響き渡りました。試合当日、前日の睡眠不足もあり、実力を出し切れず、不完全燃焼に終わりました。初めての大会はあっけなく終わりました。西の空を見ると、光を失った太陽が力無く傾いていました。帰りのバスの中、私達太った魚軍団は、声も出さず、深い眠りに落ちていました。今年も県大会で優勝し、九州大会への切符を手に入れました。今年こそは、九州大会優勝を皆で狙っています。今年11月迄、まだ、時間がたっぷり有るので、十分練習して行きたいと思います。近い将来、全国大会で優勝し、東国原知事と共に、マンゴーと地鶏を、全国でPRして来たいと思います。これを通して社会参加につなげて行けたら嬉しいです。

# 各地域精神保健福祉協議会の動き

## 宮崎地域精神保健福祉協議会

当協議会は、宮崎市、清武町、国富町、綾町の35の団体と約50名の個人で構成され、当事者の自立と社会参加の促進等を目的に次のような活動を行っています。

### 〔デイケア交流会及び家族のつどい〕

平成19年1月25日に約50名が参加して、当事者及び家族のつどいを開催しました。

当事者の意見発表として、「自立支援法について思うこと」と「宮崎県精神障害者団体連合会（ルピナス倶楽部）」の紹介をしていただきました。

また、レクレーションや昼食後のビンゴ大会では、保健所職員の自宅に眠っている品々を提供していただき豪華な景品でのゲームとなりました。にこやかな笑顔があちらこちらで見られ楽しい一日を過ごすことができました。



### 〔第53回球技（ボーリング）大会〕

平成19年2月9日（金）にフェニックスボウルにおいてボーリング大会を行いました。

毎年この大会を待ち望んでいる方が多く、13団体の34チーム261名の参加のもと選手はもちろん、応援者も一体となってゲームに参加し、いきいきと楽しそうでした。

大会の結果は、優勝：早稲田Aチーム、2位：高宮フェニックスチーム、3位：ほとくりAチームでした。

### 〔第47回宮崎県精神保健福祉大会準備会設置〕

次年度の開催に向けて、事務局になっている県中央保健所と宮崎市保健所が合同で、準備会を設置しました。当事者・家族会・地域生活を支援している関係機関がいっしょになって、平成19年10月18日（木）の大会開催に向け準備をスタートしました。

## 日南地域精神保健福祉協議会

当協議会は、日南市、串間市、南郷町、北郷町の関係機関並びに団体で構成されています。地域における精神保健福祉に関する知識の普及・啓発のためのスポーツ交流会や講演、会報「潮騒」の発行などの事業を推進し、作業所や家族会、当事者会等への活動助成を行っています。

### 【こころの健康づくり講演会】

テーマ：「子供の引きこもり、不登校の対応について」

～思春期のこころ～

日 時：平成18年7月11日（火）

場 所：日南市保健福祉総合センター

講 師：志學館大学人間関係学部

講師 境 泉洋 先生

ひきこもりの支援では、相談者からの相談内容を誰にとつての相談内容なのか（親の悩みか、本人の悩みか）という視点で見ると整理しやすく、コミュニケーションの悪循環に気づき対応を変えていくことが大切です。

家族は、「～すべきだ。」という考えであることが多いのですが、このような考えを取り払い、本人が家の中で動きやすくしてあげることが大切であり、引きこもりは長期化させないことが大事であると感じました。



### 【家族会交流会】

南郷町ハートフルセンターで、南郷町家族会、串間市家族会のメンバー（串間市の自助グループ「芽立ちの会」も含む）で交流会を開催しました。

当日は天気も良く、総勢44名の方が参加し、さまざまなゲームや音楽にあわせた体操を楽しみました。民生委員や食生活改善推進員の方々の参加もあり、地域との繋がりを感じるものでした。

家族会活動の中で、このような活動は大切なものであると思いました。



### 【機関誌発行】

日南地域精神保健福祉協議会だより「潮騒」15号を発行しました。

## 都城北諸地域精神保健福祉協議会

当協議会は都城市、三股町における精神保健福祉の推進を図ることを目的に活動しています。主な活動としては、作業所等への活動助成や精神障がい者支援ネットワークを結成し講演会やイベントの企画、協議会だよりの作成を行っています。

### 【こころの健康づくり講演会】

テーマ：「こころの癒し ～うつ病になる人ならない人～」  
講師：社団法人八日会大悟病院老年期精神疾患センター長 三山吉夫先生  
日時：平成19年2月8日(木) 14:00～16:00  
場所：ウエルネス交流プラザ(都城市)  
参加者：232人

うつ病は誰でもなる可能性があること、世代や性別でのうつ病の特徴、飲酒や喫煙との関係、うつ病の一般的な知識についてなど非常に分かりやすい話をしていただき、参加者からも大変好評でした。



### 【精神保健福祉啓発イベント「ふれあいニュースポーツ大会」】

日時：平成19年3月4日(日) 10:00～12:30  
場所：高城運動公園総合体育館

当イベントは、ニュースポーツを通して、地域の皆さんに、精神障がい者への理解を深めてもらい、こころのバリアフリーの推進を図り障がい者への偏見がなくなることを目的に、16年度から開催しています。

年々参加者が増えてきており、18年度は141人の参加がありました。



ニュースポーツとは・・・年齢や体力に関係なく、誰でも、いつでも、どこでも、気楽に、楽しく安全に出来るスポーツと言われています。(18年度実施したニュースポーツはミニテニスやフォバーディスクなど6種目)

## 西諸地域精神保健福祉協議会

### 6 / 8 (水) 第4回西諸地域精神障がい者スポーツ交流会 (愛称:「遊ばかい! たのしも会」)

昨年に引き続き、天候にも恵まれ、病院に入院されている方、デイケアに参加されている方、家族会の方、民生委員の方々など182名の参加のもと開催しました。

多くの方々との交流を目的に、グループ作りゲームや自己紹介ゲームなどで楽しんだ後、7つのレクリエーションゲームをチームで競い、上位3チームが表彰され、賞品が贈られました。

ボランティアとして参加いただいた民生委員さん方の協力により、笑顔で声を掛け合うなど、あちこちで交流の輪が広がりました。



### 12 / 6 (水) ~ / 7 (木) 第8回西諸地域精神障がい者文化交流会 (愛称:「こすもす祭」)



「みんな笑顔で歩き出そう! ~胸をはっていきいきと~」をテーマに小林市文化会館で2日間にわたり開催しました。

当事者からみた障害者自立支援法やノーマライゼーションの実践等について実際の活動を行っている方からの講演をはじめ、ステージ企画として、当事者やボランティアの方々の合唱や踊り、バンド演奏などの催し物の他、お茶席体験、ハーブ石けんや絵手紙作成などの体験コーナー、作品展やバザーなど、当事者が日頃の活動を発表しながら、より多くの方々に障がい者の理解を深めていただく機会となりました。

### 12 / 9 (土) こころの健康づくり講演会 ~自殺対策公開講座~

えびの市文化センターで開催し、250名の参加がありました。

えびの史談会会長の山下常昌さんから、「郷土の昔と今~戦時下及び藩政時代の農村~」と題して御講演をいただき、つづいて、慶応義塾大学保健管理センター教授の大野裕さんから「うつと自殺~地域で築く自分らしい生き方~」と題して御講演をいただきました。

休憩時間等にこころの健康に関心のある方へ「こころの健康サポーター」としての協力をお願いしたところ、何人もの方が協力の意志を示してくださいました。



## 西都児湯地域精神保健福祉協議会

西都児湯地域精神保健福祉協議会では、精神障がいに関する知識の普及・啓発を目的に講演会、レクリエーション交流会を開催するとともに、家族会、当事者会、デイケア等の活動支援を行っています。

### 【管内レクリエーション交流会】

平成18年11月9日(木) 高鍋町中央公園でグラウンドゴルフ、高鍋町体育館でアジャタ競技(玉入れ)とレクリエーションを行いました。

参加団体は、県立富養園、西都病院、高鍋町舞鶴ワークルーム及び家族会、都農町いちょう会、川南町のぞみ会、高鍋保健所当事者会(太陽の恵)の6団体で、ボランティアの方々にも御協力いただき、総勢115名が参加し、互いに交流を図りました。



### 【地域生活支援シンポジウム】

平成18年11月29日に新富町文化会館において、精神障がい者について理解を深めるため、シンポジウムを開催しました。当事者や家族の方をはじめ、民生委員、地域婦人連絡協議会、保健・福祉・医療関係者など約220名が参加しました。シンポジスト4名が、それぞれの立場から障がい者が地域で生活する上で必要なこと、取り組んでいることなど、熱いメッセージをいただきました。

### 【こころの健康づくり講演会】

平成18年12月19日(火)に、高鍋町美術館において、鹿児島県川薩保健所長の宇田英典先生に「ストレス社会を生きる～うつについて考える」と題し、御講演いただきました。学校、幼稚園、保育園関係者や一般の方々など約120名の参加がありました。



## 日向入郷地域精神保健福祉協議会

当協議会は、日向市、門川町、美郷町、諸塚村、椎葉村内の28の関係団体と111人の賛助会員により構成され、精神保健及び精神障がい者福祉の推進を図ることを目的に活動しています。

### さわやか交流会

平成18年12月8日、日向市勤労青少年体育センターで「玉入れ大会」を開催しました。

病院に入院されている方やデイケアメンバー、作業所等から128名の参加がありました。

今年は、昨年に引き続き2回目の玉入れとなり、みんな慣れた様子で競技していました。

仮装して参加したチームもあり、賑やかで笑いに満ちた交流の場となりました。



### 家族会合同研修会

平成19年3月7日、日向市総合福祉センターで開催し、39名の参加がありました。

10回目となった今年は、日向市の当事者や北海道べてるの家の生活経験者による体験談をはじめ、「自立支援法の中でこれから求められるもの」をテーマに、通所授産施設ブライトハウス住吉の岩下博子施設長から御講演いただきました。障がいや社会参加について、当事者や家族が一緒に考える機会となりました。

### 機関誌発行

日向入郷地域精神保健福祉協議会紙「さわやかだより」7号を発行しました。

また、一般住民の精神保健福祉に関する理解を深めるために、3回目の「さわやかミニだより」を作成し、日向市内の全世帯及び日向入郷地域の関係機関へ配布しました。

## 延岡地域精神保健福祉協議会

当協議会は、延岡市、北川町における精神保健及び精神障害者福祉の推進を図ることを目的として、心の健康づくり講演会、『こころの広場』発行、延岡地域スポ - ツ大会などさまざまな事業を行っています。(北川町が平成19年3月31日に延岡市と合併し、平成19年度からは延岡市のみとなりました。)また、平成18年度は、会長を吉田病院の吉田建世先生にお引き受けいただき、新たなスタートを切ったところです。

### 心の健康づくり講演会

地域の協力の輪を広げることを目的に実施しています。今回は、延岡で発生した竜巻災害のこころのケアの一環として「災害とこころのケア」と題して久留米大学医学部 講師 前田正治先生に御講演していただきました。135名の参加でした。竜巻は突然起こってくることで、台風とは違ってこころの準備が整わないうちに被災するので、こころのストレスは大きい。また、回復には時間がかかるので長期にわたるこころのケアが必要と話された。



### 延岡地域スポーツ大会

今年度で、13回目の開催となります。

病院の入院患者さんや仲間の会、作業所等のメンバーがミニバレーボールとグラウンドゴルフを通して交流を図っています。天候にも恵まれ150名の参加がありました。ミニバレーボールは吉田病院Bチーム、グラウンドゴルフは延岡保養園Aチームがそれぞれ優勝しました。障害者はもちろんボランティアさんとの楽しい交流の場となりました。

### こころのコンサート

昨年までは「小さな星のコンサート」として永年親しんできたコンサートを、新たに当事者が主体的に参加する発表会として再スタートしました。延岡保養園・吉田病院・大瀬作業所・カナ工房・高千穂焼き作業所・あまてらすの皆さんの工夫をこらした歌と演奏に、聴衆も発表者も一つになったクリスマス会となりました。最後には、クリスマスプレゼントの抽選会もあり楽しい時間となりました。



### こころの広場

心の健康づくりと精神障害者支援、精神保健福祉最新情報の提供を目的として年1回発行し、会員、関係機関、当事者及び家族、ボランティア等へ配布しました。

## 西白杵地域精神保健福祉協議会

当協議会は、高千穂町、日之影町、五ヶ瀬町における精神保健及び精神障害者福祉の推進を図ることを目的として、現在、団体会員（25）、個人会員で運営し、啓発活動を中心に事業を進めています。

### 【グラウンド・ゴルフ交流会】

平成18年10月26日（木）に、高千穂町総合競技場において、グラウンドゴルフ交流会を開催し、53名の参加がありました。高千穂町グラウンド・ゴルフ協会の御協力をいただきながら、国見ヶ丘病院・高千穂町・日之影町デイケアの参加者で混合チームを作り、ホールを回りました。

ホールインワン賞も出るなど楽しい交流会となりました。



### 【啓発紙の発行】

「精神保健福祉たかちほ」13号を発行し、平成19年2月に会員と西白杵地区全世帯に配布しました。

### 【こころの健康づくり講演会の開催】

平成19年3月16日、南部病院 脳外科部長の上田 孝先生を講師に迎え「脳から見た“幸せ”になる方法」という演題で講演会を開催しました。

88人の参加があり、講師の気さくな「綾小路きみまろばりの漫談」、参加者に協力をもらい寸劇を行いながらの講演でした。参加者はメモを取るのも忘れて講演を楽しんでいる様子でした。参加者の感想としても、多くの方が「良かった」「元気が出た」「幸せの価値観は心の持ち方による」また、同じ講師の話が聞きたいとの意見が出たところでした。

「人を不安と恐怖にするには」～1．孤立 2．無視 3．凝視。をする

「幸せ」になるための3つのステップ～1．自分の気持ちを人に伝えること。相手の話をよく聞くこと  
2．相槌を打つ 手拍子 拍手など。 3．笑顔



## 精神障がい者支援組織・グループの動き

「特定非営利活動法人宮崎県精神障害者家族会連合会」第1回定期総会を終えて

特定非営利活動法人 宮崎県精神障害者家族会連合会  
会長 長友 信夫

長年の懸案であった法人化の認証をようやく受け、特定非営利活動法人として正式に5月18日、第1回定期総会を開催しました。

定期総会では、宮崎県障害福祉課長の村岡精二氏、宮崎県精神保健福祉連絡協議会会長代理として奥泰裕氏の挨拶の後、障害福祉課長の講演を頂きました。

村岡精二氏は気象予報士の資格を持っておられて、台風の進路を天気図を見ながら予想をすることの面白さから、台風が大好きだというお話から始まりました。理系の分野から福祉の分野に進まれたその異色の経歴も面白いと思いました。村岡氏は、障がいを持つ当事者や家族会の皆さんとともに勉強をしながら、取り組みが遅れているといわれる精神福祉行政をしっかりと進めていくという確固たる信念を述べられました。わかりやすく穏やかな語り口は、会場の参加者に身近な存在感を抱かせたことは間違いありません。

質疑応答でも今までの総会にない多くの発言が相次ぎ、時間の関係で打ち切らざるを得ませんでした。講演の後、18年度の事業報告、決算報告の承認、19年度の事業計画、予算案を承認し議事は終了しました。

その後、「いやしの時間」として、ボランティアで出演して下さった茶原由貴子さんのキーボードの伴奏に合わせて、本田美和子さんの素晴らしい語りと井崎和子さんとの歌声は、参加者の心をいやすには十分でした。

金子みすゞさんの詩「私と小鳥と鈴と」や「ふるさと」を最後に参加者全員で歌いました。楽しい一時でした。

最後に、延岡城山家族会会長 葛原義信氏が、「大瀬作業所の現状」について作業所の経緯などを、スライドで映しながら発表されました。このような体験発表の仕方は、これまでの宮家連にはない画期的な試みで大変好評でした。葛原氏の発表を受けて、意見交換会を行い、各地で頑張っておられる作業所の所長さんなどから意見が相次ぎ盛況のうちに総会は終了しました。

私たちの宮家連は、台風に例えれば、まだ「台風目」にも成長していない小さな組織ではありますが、家族会に参加している会員の知恵を出し合いながらともに行動を起こしてゆけば、将来きっと「大きな台風目」となり精神障がい者に対する多くの問題を一つずつ解決して行けるものと思います。

障害福祉課の皆さん、その他各関係機関の皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

総会の様子は、宮家連のホームページ「家族の広場」に写真が掲載してありますので是非ご覧ください。ホームページは「宮家連」で検索していただくと立ち上がります。



第1回定期総会で講演される  
障害福祉課長 村岡 精二氏

## 社団法人宮崎県断酒友の会

アルコール依存症は決して特別な病気ではありません！

アルコールは依存性の高い薬物なので、アルコール依存症になるのは意志の強さや性格は関係ありません。飲み方を間違えると誰でもなる可能性があります。性別も年齢も職業も学歴も関係ありません。依存症者は全国に82万人いると推計され、予備軍はその数倍はいると言われています。さらに最近の傾向として、暴言・暴力もない『静かなるアル中』や、仕事も休まずにこなす『ネクタイアル中』など、一見アルコール依存症には見えない人達が増えています。

アルコール依存症は否認の病気です！

本人は、自分がアルコール依存症ではないというあらゆる理由を考え出し、アルコールを得るためには手段を選ばず、嘘も平気でつきます。本人が必死に否認する理由としては、自分がアルコール依存症であると認めると、何よりも大切なアルコールを手離さなければならぬからです。さらに家族にも否認の傾向があります。「まさか自分の夫が、妻が、アルコール依存症のはずはない。」これは家族のもっとも陥りやすい否認です。



本人、家族が否認を乗り越えてはじめて、アルコール依存症からの回復が始まります。

断酒会には誰よりもわかりあえる仲間と気づきがあります！



アルコール依存症からの回復には断酒しかありません。しかし、1人では断酒できません。そこで、(社)宮崎県断酒友の会では『孤独からの脱出』をモットーに掲げ、定期的に例会を開催し、アルコールに関して「同じ悩み」を持つ本人とその家族が集まって体験談を語り合い、人と人との結びつきをより大切にしています。

断酒の鉄則は体験談を目で聞き、足で語る。即ち例会出席！

例会は、各支部によって大小の差はありますが、毎月決まった曜日に県内各地【宮崎・都城・日南・清武・高岡・西諸・えびの・日向・延岡】の会場で、毎回15名前後で約90分～120分、酒害体験を語りあいます。例会には酒害者の家族も参加し、家族も酒害体験を語ります。家族は酒害の影響をまともに受けていますので、体験談を語るにより、家族も自己洞察が強まり、回復へと結びついていきます。

酒害者の家族は最大の被害者ですが  
最良の治療者(協力者であり理解者)でもあります！

今まで家族は問題飲酒の後始末をしたりして、結果としてアルコール依存症者を飲ませ続ける事になり、酒害に巻き込まれ、心身ともに疲れきっています。だから、家族だけでも例会に出席して、酒害者本人とその家族の酒害体験に耳を傾けて下さい。そして、アルコール依存症という病気を理解し、積極的に例会参加に取り組み、家族が回復し変わっていけば、きっと本人も変わる日が訪れるでしょう。



(社)宮崎県断酒友の会は例会【酒害体験を語り、聞く】を通して  
酒害者本人とその家族が『断酒幸福』を目指しています。

【宮崎県断酒友の会に関する問合せ先】

(社)宮崎県断酒友の会 事務局 米崎邦雄 Tel 090-8833-2163

# 第1回ルピナスフォーラムを終えて

宮崎県精神障害者団体連合会（ルピナス倶楽部）

会長 川本 英樹

—昨年11月18日にルピナス倶楽部が発足して以来のルピナスフォーラム、期待と不安が交錯しながらも、総会が始まりました。14名という少ない人数でしたが、議決人数に達したので承認を得ることができました。

次にみんなで学ぼう障害者自立支援法をテーマに、第1回ルピナスフォーラムが始まり、まず初めに、私、川本英樹が発表し、障害者自立支援法の施行によって精神障害者はどのようになっていくのか、中でも印象に残ったのが、一割負担になっての応益負担によってどう変わるのかという事と、障害者の雇用支援について発表しました。

次に障害福祉課の内海裕士さんが発表し、自立支援法の施行により、今後、障害者を取り巻く環境や福祉サービスがどう変わっていくのかについて発表し、その中で印象に残ったのが、今まで遅れていた障害を取り戻すということでした。

次に岩下博子さんが発表し、障害者の心の支えとなる支援活動の充実または、地域における精神障害者への支援について発表し、その中でも印象に残ったのが、ささいな事に潰されている悩みを受け、中でもストレスを克服していく過程において、能力を見出して勇気をもつようにして自分の能力を実戦に生かしてほしいということでした。

次に永山昌彦さんが三障者の自立を支える環境基盤作りについて発表し、中でも印象に残ったのが、三障者の自立について実現していくためには、当事者自身が変わっていかなければならないし、自分たちの障害を他の障害者を思わせなければならぬし、一人一人が力をつけて行かなければならないということでした。

最後に、細見 潤さんが医者立場で意見を述べました。その中でも印象に残ったのが、自尊心を持ちモチベーションを高めていき、うまく仕事を切り替える方法を努力すれば良いという事と、自分の気持ちを正しく伝えれば、ストレスを抑えればいろいろな精神症状が治れば治ったと思うし、また統合失調症は薬物・療法を用いれば治るということと、各個人が薬等を管理し、他人に任せてはだめだということでした。

以上5名が障害者自立支援法について詳しく発表しました。

そして、第1回ルピナスフォーラムは約140名の人たちが参加し、成功で終えることができました。それぐらいに障害者自立支援法に対する関心が高いという表れと、地域支援の精神障害者に対するケアが大切であるということでした。

これからも、第2回、3回とルピナスフォーラムを重ねていき、健常者に対して精神障害者に対する理解を深めればと改めて痛感しました。

# 地域で活動する自助活動グループ等の紹介

## 「ギャンブル（パチンコ・スロット等）依存症」自助グループ GA都城

### GA（ギャンブラーズ・アノニマス）とは

GAとは、名もなきギャンブラー達という意味で、自分のギャンブル（パチンコ・スロット・競馬etc）に問題があり、なんとかして「ギャンブルをしない生活」を取り戻したいと願う人達の為の自助グループです。

メンバーになるために必要なことはただ一つ、「ギャンブルをやめたい」という願いだけです。「会費」もないし、「料金」を払う必要もありません。また、「名前・職業・住所等」一切話す必要もありません。

### 1 ギャンブル依存症とは？

「止めたくてもやめられない」「今日は、行かない」と思っていたとしても行ってしまう。「問題がある」とわかっているにもかかわらず、自分の意思ではどうする事もできない「コントロール障害」の病気です。

また、「自覚症状」もなく自分自身で気づく人はほとんどなく、ギャンブルをやればやるほど進行していきます。

進行すればするほど、本人の周辺に様々な問題が発生します。嘘・言い訳・家庭内窃盗・借金と次々と問題はエスカレートして行き、最悪な場合は「犯罪」「自殺」に繋がる恐ろしい病気です。

更に、この病気の恐ろしいところは、本人に関わる周辺の人達をも巻き込み病気にしたり、多大な損害を与えてしまいます。故に、家族等の病気に対する「正しい理解」が重要になります。

### 2 GA設立についての経緯

九州管内において、「ギャンブル依存症」に関する自助グループや相談所が存在しないのは南九州（宮崎県・鹿児島県）だけであり、また、医療機関においても他県に比べますと両県ともに非常に後進県であります。

パチンコ店の営業軒数を見ると、異常なくらいの店舗が存在し、様々な問題が発生しているのも実状です。

その様な環境の中で、パチンコ・スロット等で苦しむ本人・家族等が皆無なのは想像しがたく、ただ単に、手をこまねいているのではないかとの観点から、平成19年1月より三股町にあります「大悟病院様」の御協力の下に設立に至りました。

### 3 活動状況

毎週2回、それぞれの会場において「ミーティング」を主体とした活動を行っております。参加は、ルールを守れる方であれば誰でも自由に参加できます。

「病気」に関する資料等（無料）も随時配布いたしておりますので、「病気」に関心のある方は是非ご参加されることをお勧め致します。

### 4 ミーティング会場のご案内

月曜日	19:30～20:30	大悟病院（音楽療法室内）
土曜日	19:30～20:30	都城市勤労者会館（警察署近く）

### 5 相談・連絡先について

大悟病院（北諸県郡三股町大字長田1270）Tel：0986-52-5800

（担当：松岡）

GA都城（夜間 18:30以降）Tel：090-1193-9680（代表：ジョー）

都合により場所等の変更がある場合がありますので、来場される場合は、事前に御連絡ください。



## AAの宮崎県北部の活動状況

アルコールクス・アノニマスは、経験と力と希望を分かち合って共通する問題を解決し、ほかの人たちもアルコールリズムから回復するように手助けしたいという共同体である。

AAメンバーになるために必要なことはただ一つ、飲酒をやめたいという願いだけである。会費もないし、料金を払う必要もない。私たちは自分たちの献金だけで自立している。

AAはどのような宗教、宗派、政党、組織、団体にも縛られていない。また、どのような論争や運動にも参加せず、支持も反対もしない。

私たちの本来の目的は、飲まないで生きていくことであり、ほかのアルコールクも飲まない生き方を達成するように手助けすることである。

(この序文の著作権はAAグレープバイン社にあり、その許可のもとに再録)

### AA のびようかグループ 高千穂会場

西臼杵地区では、2003年7月より、のびようかグループ高千穂会場としてミーティング場を開いております。アルコールク本人、家族、その他関係者が自由に参加できるオープンミーティングです。

\* 日 時：毎週月曜日(第1月曜を除く)午後7時～8時半

\* 場 所：西臼杵郡高千穂町三田井435-1

高千穂町国民健康保険病院 2F

### その他の県北地域の会場

#### のびようかグループ

延岡会場 延岡市三ッ瀬町1-12-4 延岡社会福祉センター 2F  
毎週木曜日 午後7時～8時半(祭日は休み)

#### ひむかグループ

日向会場 日向市鶴町2-4-16 日向カトリック教会  
毎週火曜日 午後7時～8時半

一ヶ岡会場 延岡市南一ヶ岡2-17-1 一ヶ岡コミュニティーセンター  
第1・3・5土曜日 午後7時～8時半

善正寺会場 延岡市山下町3-4088 善正寺  
第2・4土曜日 午後7時～8時半

## 障がい者の就労促進に取り組む事業所

はぐるま工房  
代表 長嶺 佳子

はぐるま工房は、平成6年に日南保健所のデイケアに通所中のメンバーが中心となり、軽作業をと  
おして自立した生活の確立と生きがいを高めることを目的としてスタートしました。

現在の作業内容は、パウンドケーキやクッキーづくり、商品の包装・発送作業等が主で、利用者の  
希望・能力に応じた作業を選択できるようにしています。

また、月2回の割りでレクリエーションを取り入れて、心身をリフレッシュしています。

はぐるま工房は、昨年10月から障害者自立支援法の本格実施に伴い、一般企業等での就労が困難  
な障害者に、働く場を提供するとともに、知識及び能力の向上のために必要な訓練を行なう就労継続  
支援事業に移行しました。支援内容は従前どおりですが、精神障害者だけでなく、知的障害者や身  
体障害者の仲間も一緒に作業に加わり、お互い助け合いながら進めています。

今後のはぐるま工房は、障害者の方々が地域で安心して暮らしていけるように、生産活動をと  
おして就労に必要な訓練の場、いろいろな人たちとの交流の場、そして憩いの場として位置づけ、関係す  
る行政機関等と連携しながら支援して参りたいと思います。

今回は宮崎県精神保健福祉連絡協議会会長表彰を頂き誠にありがとうございました。



# 有限会社 東九農園

## 【会社概要】

平成5年6月、本業（東九州電設工業株式会社）のサイドビジネス・業務閑散期の仕事作り・従業員退職後の雇用対策として会社設立をしました。

平成17年2月より精神障がい者社会適応訓練協力事業所として精神障がい者の方の受け入れも行っていきます。身体障がい者の受け入れも行っており、現在ピーマン52アール、大根葉・水菜など3アールをハウス栽培しています。

## 【訓練生】

週3日（月・水・金）9時から15時まで、4名の方が農作業を中心とした訓練を行っています。

訓練生は、日向地域活動支援センターはまゆうまで来てもらい、そこから農園まで送迎を行っています。

## 【作業内容】

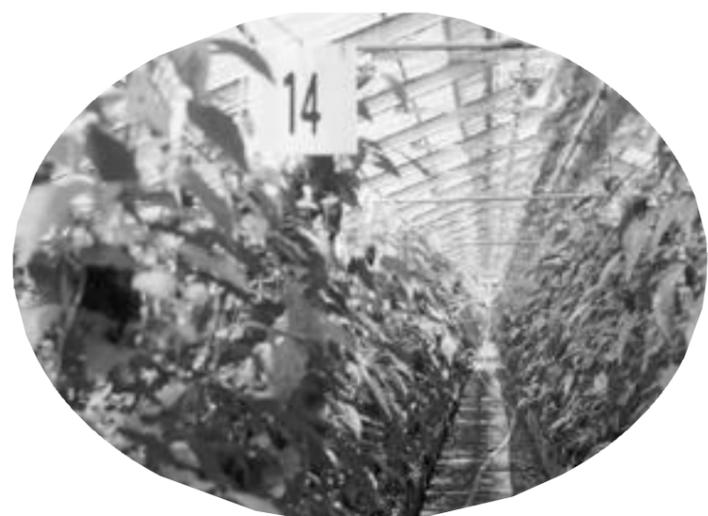
ハウス内での作業は、ピーマンの摘心、枝整理、葉取り、草取り、野菜の出荷準備（水洗い、計量など）があります。ハウス内には列ごとに管理番号を付けているので、自分が作業した場所がすぐ分かるようになっています。次回の作業がスムーズに行えるように作業掲示板に作業番号を記入しているので、自分で作業の管理ができるようになっています。

仕事が終わり帰るときには、みなさん満足感あふれた顔をされ、車中より手を振られ、私どもまでやりがいを感じています。ハウス内の作業は、寒い時期はいいですが、暑い時期は大変な作業ですが皆さん良く頑張ってください。

## 【その他】

従業員とのコミュニケーション作りとして、誕生会・食事会・ピーマン試食会・お楽しみ会（年始め）などのレクリエーションも行っていきます。

また、地域の幼稚園、小学校から野外学習としてピーマンの収穫に来られますので、子ども達との交流もあります。



カナナ工房施設長 工藤 慶子

青葉若葉の光り輝く季節となりました。

カナナ工房は平成16年開所から4年目を迎えることができました。

これもひとえに皆様方の厚いご支援のおかげであり、心より感謝申し上げます。

これまで通所授産施設として運営してまいりましたが、法改正により就労継続支援事業所「B型」として新体制に移行しました。基幹としてのパン、クッキーに加え利用者さんのさまざまなニーズに応えるべく新しい事業「園芸」を取り入れます。宮崎県の補助により温室も完成しました。これからいろいろな花を育て、こころの安らぎを感じていただくとともに、これが利益を生み、少しでも工賃の上乗せができるようになればと、考えています。

これからも利用者の方々の地域生活の安定や社会参加の援助に全力で取り組み、1人でも多くの就労が実現できますよう職員一同でがんばります。

更なるご支援をお願い申し上げます。

## 園芸用ガラスハウスが完成しました！



奥がハウス、手前は休憩室です。



カナナ工房（玄関）



開所式：平成19年6月29日

## 宮崎県精神保健福祉連絡協議会 賛助会員の最近の取り組み

### 医療法人 恵喜会 西都病院 認知症治療疾患病棟

当病棟は60名の患者様が入院され、関わるスタッフは看護師・准看護師・介護福祉士・介護助手・作業療法士・音楽療法士・精神保健福祉士と多職種により構成されている。

園芸活動に取り組むきっかけとして、患者様から「花が好き」や「昔は園芸をしていた」などの言葉がコミュニケーションを取っていくうちに聞かれるようになり、数名の患者様とスタッフとで当病棟に備え付けてあるテラスで取り組み始めた。

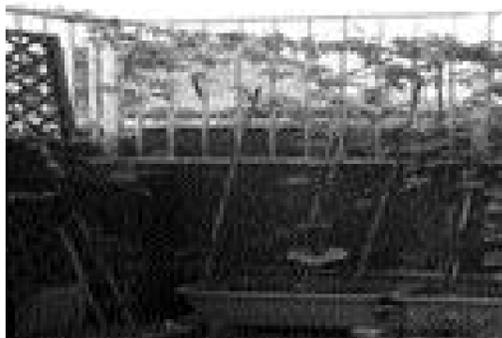
苗の買い付けや肥料・プランター等に至るまで、患者様と買い物へ出かけ、いちからスタートさせた。SSTの場を活用し、何が育ててみたいかなど患者様の声を第一とし数種類の花や植物（夏野菜）を取り入れた。

農家をやっていた患者様や園芸を趣味としていた方も多く、スタッフより手際の良い患者様も見られ、教えてもらう事もあり楽しく行っている。

日々の生活の中で、患者様が積極的に水やりを行ったり、成長具合を確認したり、普段は園芸に関わらない患者様も、テラスを見てくつろいでいたりする姿が度々見られるようになった。

夏野菜を収穫し、女性患者様につけものにしてもらい、みんなで試食したりなどし、園芸活動から調理などの活動に発展させる事も出来ている。

現在の取り組みとしては、去年の継続に加え、当初より園芸に興味・関心のある患者様も増え、にぎやかに活動しており、他の場所での花植えなど活動の場を増やしている。また、南九州大学より学生ボランティアを交えて行うことで充実してきた。今年もテラスでは多くの花などで楽しむ事が出来、夏野菜の収穫をスタッフ・患者様共に楽しみにしている。



## 医療法人 悠生会吉田病院 在宅支援サービスのご紹介

\* 生活訓練施設 援護寮 「はまぼう荘」 H18年9月1日開所しました。

生活訓練施設援護寮とは・・・入院の必要性はないが、精神障害のために単独の日常生活が困難で、生活訓練の必要な方、社会復帰を希望される方が入所対象となります。

定員は20名 常勤職員は施設長1名、精神保健福祉士1名、社会復帰指導員4名

「はまぼう」の花  
アオイ科の植物です  
河口などに見られます



### \* 訪問看護サービス

患者様、御家族のご希望があった場合に看護師や、精神保健福祉士が、ご家庭等を訪問し、病状相談 通院服薬相談 日常生活相談 家庭環境相談 社会資源活用方法相談等のサービスを行っています。

通院治療をされている方で、なかなか、通院や服薬がうまくいかない、話し相手がいない家にひきこもりがちな方は一度ご相談してみてください。



### \* 家族勉強会・家族交流会

H16年より認知症の患者様をもつご家族を対象に、認知症の勉強会とご家族の交流会を行ってきました。H17年より、入院患者様のご家族や地域の方々にもおよびかけして年1回のペースで行っています。H18年3月には外部講師を招いての講演会と茶話会形式の交流会を行いました。ご家族は、日頃話せない悩みや、日常生活で困っている出来事を、同じ悩みを持つ他の家族やDrに話せたことで、安心したり、対応のヒントを得たりと好評でした。又、H18年7月には精神科の患者様ご家族を対象に「統合失調症」の講演を行いました。今後は疾患別の勉強会やご家族の交流会が開催できればと思っております。

### \* 重度認知症患者デイケア「しおさい」

医療保険での認知症のデイケアです。月曜日～土曜日まで行っています。

外部講師による音楽療法(2回/月)行っています。

職員配置 Dr、看護師2名 准看護師1名 OT1名 PSW1名 介護職6名

### \* 精神科デイケア「フレッシュハート」

H18年より、デイトケアも始めました。

Am 9:00よりPm7:00まで 昼食、夕食を提供いたします。

職員配置 Dr1名 看護師3名 准看護師1名 OT1名 CP1名 PSW1名 栄養士1名

## 宮崎県精神保健福祉連絡協議会だより

協議会は、「精神衛生協議会」として昭和35年に精神衛生に関する普及啓発のために設立されました。その後の法改正に伴い、平成元年度「精神保健協議会」、平成8年度「精神保健福祉協議会」へと名称変更を経て、平成12年度の組織変更に伴い現行の「精神保健福祉連絡協議会」となりました。現在、精神保健及び精神障がい者の福祉に関する思想の啓発普及を主な目的として活動を推進しています。

主な行事の開催（平成18年度）

月/日	名 称	内 容
5/14	第5回宮崎県障害者スポーツ大会 (宮崎市)	宮崎県総合運動公園ほか（参加者数 1,512名） （うち精神障がい者の部 524名）
5/23	第1回総会(宮崎市)	平成17年度事業報告及び平成18年度事業計画他
9/1	第2回総会および第1回理事会 (宮崎市)	協議会会長表彰者の選考他
10/5	「精神保健福祉みやざき (46号)」	機関誌（1,700部）発行
10/12	第46回宮崎県精神保健福祉 大会(小林市)	小林市文化会館（参加者数 1,271名）
2/5	精神保健福祉だより「心の健 康(No.61)」	啓発パンフレット（1,500部）発行
2/8	こころの健康づくり講演会 (都城市)	ウェルネス交流プラザ（参加者数 232名）
3/16	こころの健康づくり講演会 (高千穂町)	高千穂町自然休養村管理センター（参加者数 88名）
3/20	第3回総会(宮崎市)	平成19年度事業計画及び予算案他

# 平成18年度事業実績

## 1 会議の開催

- (1) 第1回総会 (平成18年5月23日(火) 県総合保健センター - 5階研修室A)
  - ・平成17年度事業報告及び決算報告について
  - ・平成18年度事業計画案及び当初予算案について
  - ・各地域における事業報告(17年度)及び事業計画(18年度)
- (2) 第2回総会・第1回理事会 (平成18年9月1日(金) 県総合保健センター - 5階研修室A)
  - ・役員を選任について
  - ・第46回宮崎県精神保健福祉大会における精神保健福祉功労者選考について
  - ・精神保健福祉みやざき(第46号)の発行について
- (3) 第3回総会 (平成19年3月20日(火) 県総合保健センター - 5階研修室A)
  - ・役員改選について(平成19年4月1日~平成21年3月31日)
  - ・平成19年度事業計画案及び当初予算案について
  - ・精神保健福祉連絡協議会会長表彰規定の改正について
  - ・こころの健康づくり特別対策事業の創設について

## 2 大会の開催

- (1) 第5回宮崎県精神障害者スポーツ大会
  - ・平成18年5月14日(日)開催(宮崎県総合運動公園ほか)
  - ・ミニバレーボール 18チーム、グラウンド・ゴルフ 47チーム  
バレーボール 3チーム
  - ・参加者総数 1,512名(うち精神障がい者の部 524名)
- (2) 第46回宮崎県精神保健福祉大会
  - ・平成18年10月12日(木)開催(小林市文化会館)
  - ・テーマ 笑って笑って こころも笑う 笑顔いっぱい しあわせいっぱい
  - ・精神保健福祉功労者表彰(会長表彰受賞者 9者)
  - ・特別講演 ライブ講座 爆笑「客席参加型落語」 落語家 桂 三風氏
  - ・参加者総数 1,271名

## 3 啓発・助成

- (1) 「特定非営利活動法人 宮崎県精神障害者家族会連合会」活動支援
- (2) 「社団法人 宮崎県断酒友の会」活動支援
- (3) 「ルピナス・フォーラム」開催支援(平成18年10月28日(土))

## 4 普及・啓発

- (1) 機関誌「精神保健福祉みやざき(46号)」 1,700部(10月5日発行)
- (2) 啓発用パンフレット「心の健康(61)」 1,500部(2月5日発行)

## 5 その他

- (1) こころの健康づくり推進事業(講演会 2回) 都城市、高千穂町
- (2) 精神保健福祉功労者表彰(会長表彰) 9者(個人 7名、グループ 2団体)
- (3) 九州精神保健福祉協議会理事会(長崎市)出席
- (4) 全国精神保健福祉連絡協議会総会・保健福祉全国大会(千葉市)出席

# 平成19年度事業計画

## 1 県大会開催

(1) 第47回「宮崎県精神保健福祉大会」  
平成19年10月18日(木)開催予定  
宮崎市民文化ホール(宮崎市)

(2) 第6回「宮崎県障がい者スポ - ツ大会」  
平成19年5月13日(日)開催予定  
宮崎県総合運動公園(宮崎市)

## 2 精神保健福祉功労者表彰

(第47回精神保健福祉大会時に表彰状授与予定)

## 3 各地域精神保健福祉協議会活動への支援

①「こころの健康づくり特別対策事業」  
自殺対策、自立支援促進(退院促進・地域生活支援)事業の創設

## 4 普及啓発事業

(1) 機関誌「精神保健福祉みやざき(第47号)」の発行・配布

(2) 啓発誌「心の健康(No62)」の作成・配布

②(3)「専用ホームページ(HP)」の開設・運用  
精神保健福祉事業や協議会関連活動に関する啓発・広報活動の強化

(4) ビデオ・図書類等の貸し出し

(5) 自助グループ活動への助言・支援

## 5 各種団体に対する支援事業

(1)「NPO法人宮崎県精神障害者家族会連合会」活動支援

(2)「社団法人宮崎県断酒友の会」活動支援

(3)「ルピナス・フォーラム」開催支援

## 6 社会復帰指導育成

社会支援又は自助グループ等の結成促進、障がい者に対する理解促進活動に対する指導・育成

## 7 総会・理事会の開催

(1) 第1回総会(平成19年5月開催)  
最終決算・事業実績承認、協議会・団体活動報告など

(2) 第1回理事会(平成19年8月開催)  
表彰者決定、機関誌発行、特別事業審査など

(3) 第2回総会(平成20年3月開催)  
当初予算・事業計画決定、事業日程・新規案件協議など

## 8 その他

(1)九州精神保健福祉協議会理事会への出席

(2)全国精神保健福祉連絡協議会総会等への出席

# 平成19年度新たにスタートする新規事業

## 1 「こころの健康づくり特別対策事業」の創設について

### 事業の趣旨

協議会は、特定の課題(自殺予防、自立支援など)をテーマとして効果的に対応する態勢を整え、かつ各地域や各市町村が抱える課題に重点的に対処する事業を支援することを目的とした「こころの健康づくり特別対策事業」を平成19年度の新規事業として創設しました。

### 事業の概要

県内8医療圏域をそれぞれカバーしている「各地域の精神保健福祉協議会」が実施主体となって、その管内市町村や関係医療機関と連携・連絡して企画・立案し、また実際の活動についても共同して実施する次の1)と2)の事業内容を支援します。

#### 1) 自殺対策推進事業

地域住民が抱えるうつ病、ストレス等に適切に対応して自殺予防対策を推進することを目的とした活動を内容とする事業

#### 2) 自立支援促進事業(退院促進・地域生活支援)

長期入院している精神障がい者等が地域社会で自立して生活できるような基盤づくりに寄与することを目的とした活動を内容とする事業

## 2 「専用ホームページ(HP)」の開設について

### 開設の趣旨

精神障がい者に関する啓発・支援活動をさらに促進するとともに、精神保健福祉関連の情報をより効果的に提供する態勢を整え、関係者や一般県民がアクセスしやすいネットワークを構築することを目的に協議会専用のホームページを開設します。

### 開設の概要

協議会の活動内容や組織態勢を分かりやすく紹介するとともに、協議会を構成する会員情報を掲載することで、行政機関、医療施設、関係団体間の連携や連絡を促進します。また、機関誌「精神保健福祉みやざき」等もアップして県内で実際に動いている活動の今を精しく紹介します。

# 宮崎県精神保健福祉連絡協議会 役員名簿

平成19年5月8日現在

役名	氏名	役職名
会長	三山吉夫	宮崎大学 名誉教授
副会長	河野一成	宮崎県精神科病院協会 会長
常務理事	杉本隆史	宮崎県精神保健福祉センター 所長
理事	近間 悟	宮崎地域精神保健福祉協議会 代表
理事	谷口 浩	日南地域精神保健福祉協議会 代表
理事	藤元 登四郎	都城北諸地域精神保健福祉協議会 代表
理事	肥後 正弘	西諸地域精神保健福祉協議会 代表
理事	中林 永一	西都児湯地域精神保健福祉協議会 代表
理事	二宮 嘉正	日向入郷地域精神保健福祉協議会 代表
理事	吉田 建世	延岡地域精神保健福祉協議会 代表
理事	植松 昌俊	西臼杵地域精神保健福祉協議会 代表
理事	石田 康	宮崎大学医学部精神医学講座 教授
理事	河野 博	宮崎県社会福祉協議会 副会長
理事	近間 悟	宮崎県精神神経科診療所協会 会長
理事	村岡 精二	宮崎県障害福祉課 課長
理事	長友 信夫	宮崎県精神障害者家族会連合会 会長
理事	森山 健一	宮崎県断酒友の会 理事長
理事	馬場 弘	宮崎県障害者社会参加推進協議会 会長
理事	野辺 正涼	宮崎県老人福祉サービス協議会 会長
監事	後藤 勇	宮崎県精神科医会 監事
監事	川畑 紀彦	宮崎県保健所長会 会長

役員数：理事19名（会長1名、副会長1名、常務理事1名を含む）、監事2名

役員任期：平成19年4月1日～平成21年3月31日（2年間）

# 宮崎県精神保健福祉連絡協議会 会員名簿

## 正会員

平成19年7月26日現在

組織・団体名	郵便番号	所在地住所	電話番号	FAX番号	ホームページ
宮崎地域精神保健福祉協議会	880-0032	宮崎市藤島1-1-2 中央保健所内	0985-28-2111	0985-23-9613	
白南地域精神保健福祉協議会	889-2538	白南市吾田西1-5-10 白南保健所内	0987-23-3141	0987-23-3014	
都城北地域精神保健福祉協議会	885-0012	都城市上川原3-14-3 都城保健所内	0986-23-4504	0986-23-0551	
西郷地域精神保健福祉協議会	886-0003	小林市大字堤字金島居3020-13 小林保健所内	0984-23-3118	0984-23-3119	
西都児湯地域精神保健福祉協議会	884-0004	児湯郡高嶺町大字城口浦5120-1 高嶺保健所内	0983-22-1330	0983-23-5139	
日向入郷地域精神保健福祉協議会	883-0041	日向市北町2-16 日向保健所内	0982-52-5101	0982-52-5104	
延岡地域精神保健福祉協議会	882-0803	延岡市大真町1-2840 延岡保健所内	0982-33-5373	0982-33-5375	
西臼杵地域精神保健福祉協議会	882-1101	西臼杵郡高千穂町大字三田井1086-1 高千穂保健所内	0982-72-2168	0982-72-4786	
社団法人 宮崎県精神科病院協会	880-0013	宮崎市松塚1-1-32 コーポはまゆう7F	0985-60-2671	0985-60-2672	
宮崎県精神科診療所協会	880-0031	宮崎市船塚1-2 近間クリニック内	0985-24-6662	0985-24-7008	
宮崎大学医学部精神医学講座	889-1692	宮崎県清武町大字木原5200	0985-85-2969	0985-85-5475	<a href="http://www.med.miyazaki-u.ac.jp">http://www.med.miyazaki-u.ac.jp</a>
社会福祉法人 宮崎県社会福祉協議会	880-0007	宮崎市原町2-22 県福祉総合センター内	0985-22-3145	0985-27-9003	<a href="http://www.mikensha.or.jp">http://www.mikensha.or.jp</a>
宮崎県精神科協会	889-0511	延岡市松原町4-8850 吉田病院内	0982-37-0126	0982-37-0233	
特定非営利活動法人 宮崎県精神障害者家族会連合会	880-2114	宮崎市大字高吉28	0985-47-4255	0985-48-1632	<a href="http://www5.ocn.ne.jp/~mkaren">http://www5.ocn.ne.jp/~mkaren</a>
社団法人 宮崎県酒友の会	880-0913	宮崎市恒久6-9-11	0985-53-6030	0985-53-6030	
宮崎県障害者社会参加推進協議会	880-0007	宮崎市原町2-22 県福祉総合センター内	0985-26-2950	0985-26-2950	
宮崎県老人福祉サービス協議会	880-0007	宮崎市原町2-22 県福祉総合センター内	0985-22-3145	0985-27-9003	
宮崎県保健所長会	880-0032	宮崎市藤島1-1-2 中央保健所内	0985-28-2111	0985-23-9613	
宮崎県障害福祉課	880-8501	宮崎市越通東2-10-1	0985-26-7068	0985-26-7340	<a href="http://pref.miyazaki.lg.jp">http://pref.miyazaki.lg.jp</a>
宮崎県精神保健福祉センター	880-0032	宮崎市藤島1-1-2	0985-27-5863	0985-27-5276	<a href="http://pref.miyazaki.lg.jp">http://pref.miyazaki.lg.jp</a>
宮崎大学名誉教授	889-1911	北諸県郡三股町大字長田1270 老年期精神疾患センター	0986-52-5800	0986-52-5573	

## 賛助会員

組織・団体名	郵便番号	所在地住所	電話番号	FAX番号	ホームページ
宮崎大学医学部附属病院	889-1692	宮崎県清武町木原5200	0985-85-9142	外来	<a href="http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/hospital">http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/hospital</a>
宮崎県立高養園	889-1498	児湯郡新富町大字三輪代2226-2	0983-33-1131	0983-33-4268	<a href="http://pref.miyazaki.lg.jp">http://pref.miyazaki.lg.jp</a>
医療法人清芳会 井上病院	880-0123	宮崎市大字芳士80	0985-39-5396	0985-39-2410	<a href="http://www.insoue-hp.net">http://www.insoue-hp.net</a>
医療法人同心会 古賀総合病院	880-0041	宮崎市池内町敷木1749-1	0985-39-8966	0985-39-0634	<a href="http://www.kgh.or.jp">http://www.kgh.or.jp</a>
医療法人真愛会 高宮病院	880-0841	宮崎市吉村町大町甲1931	0985-24-5678	0985-22-1571	<a href="http://www.takamiya.or.jp">http://www.takamiya.or.jp</a>
財団法人私酒会 野崎病院	880-0916	宮崎市大字恒久5567	0985-51-3111	0985-51-3114	<a href="http://www.koujinkai.jp">http://www.koujinkai.jp</a>
医療法人慈光会 宮崎若久病院	880-0945	宮崎市福島町香山3147	0985-51-1548	0985-52-7394	<a href="http://www.miyazaki-wakakusa.com">http://www.miyazaki-wakakusa.com</a>
医療法人如月会 若草病院	880-0804	宮崎市宮田町7-37	0985-28-2801	0985-20-0819	<a href="http://www.miyazaki-wakakusa.or.jp">http://www.miyazaki-wakakusa.or.jp</a>
社団法人八日会 大悟病院	889-1911	北諸県郡三股町大字長田1270	0986-52-5800	0986-52-5573	<a href="http://www.fujimoto.or.jp">http://www.fujimoto.or.jp</a>
医療法人真心会 永田病院	885-0084	都城市五十町5173	0986-23-2863	0986-23-2238	
社団法人八日会 藤元病院	885-0055	都城市早稲町17-4	0986-25-1315	0986-25-2473	<a href="http://www.shinsei-hp.jp">http://www.shinsei-hp.jp</a>
医療法人一誠会 都城新生病院	885-0093	都城市志比内町3782	0986-22-0280	0986-25-1958	<a href="http://www.shinsei-hp.jp">http://www.shinsei-hp.jp</a>
医療法人藍園会 延岡保健園	882-0863	延岡市緑ヶ丘5-14-30	0982-33-6396	0982-35-3370	<a href="http://www.ryuseikai.com">http://www.ryuseikai.com</a>

医療法人悠生会 吉田病院	889-0511	延岡市松原町4-8850	0982-37-0126	0982-37-0233	http://yoshida-hp.com
医療法人同仁会 谷口病院	887-0034	日南市大字嵐田3861	0987-23-1331	0987-23-7739	http://www.taniguchi-hospital.jp
医療法人浩然会 内村病院	886-0002	小海市大字水鏡迫852-1	0984-23-2575	0984-22-6442	
医療法人信和会 小林保愛院	886-0003	小海市大字埴2939	0984-22-2836	0984-22-5341	
医療法人和敬会 国見ヶ丘病院	882-1102	西臼杵郡高千穂町大字押方1130	0982-72-3151	0982-72-3153	http://www.kuninigaoka.or.jp
医療法人十善堂 泉南病院	889-0001	串間市大字西方3728	0987-72-0224	0987-72-5967	http://www.kennan-hospital.or.jp
医療法人向洋会 協和病院	883-0021	日向市大字財光寺1194-3	0982-54-2806	0982-54-3319	
医療法人望洋会 鮫島病院	883-0033	日向市大字塩見14168	0982-54-6801	0982-53-7313	http://www.sameshima-hp.jp
医療法人社団慶福会 瀬井病院	883-0033	日向市大字塩見11652	0982-52-2409	0982-52-2403	
医療法人浩洋会 田中病院	889-0623	東臼杵郡門川町宮ヶ原4-80	0982-63-2211	0982-63-2211	http://www.h7.dion.ne.jp/~tanaka.h
医療法人東舞会 西都病院	881-0023	西都市大字園殿1010	0983-43-0143	0983-43-5256	http://saito-hospital.jp
医療法人りっか会 ヒア・メンタルささき病院	880-0211	宮崎市佐土原町下田島21230	0985-73-1811	0985-72-0640	http://www.pseor-nicka.jp
<b>あいクリニック</b>					
医療法人社団静心会 近間クリニック	880-0879	宮崎市宮崎駅東1-6-7	0985-25-0085	0985-25-5882	
福永内科神経科医院	880-0031	宮崎市船塚1-2	0985-24-6662	0985-24-7008	
早稲田内科神経科医院	889-1607	宮崎郡清武町大字加納1-28-2	0985-85-6006	0985-85-6006	
立津医院	880-0933	宮崎市大坪町西六月2197-1	0985-53-3030	0985-54-5151	
野田クリニック	884-0002	原湯郡高嶺町大字北高嶺780	0983-22-1035	0983-22-1126	
ハーティクリニック	882-0052	延岡市萩町52	0982-35-7799	0982-34-0085	
こころメンタルクリニック	882-0026	延岡市神の木田町2296-6	0982-33-8808	0982-33-8809	http://www.heartty.cc
北野クリニック	880-0905	宮崎市中村西3-2-33	0985-55-1777	0985-55-1789	
向塚の里クリニック	880-0844	宮崎市幸丸町153-1	0985-22-7588	0985-22-7587	
医療法人ハートピア細見クリニック	880-1101	東諸県郡国富町大字木庄1407	0985-75-7752	0985-75-2979	
サザンクリニック	880-0001	宮崎市横通西1-5-3	0985-35-1100	0985-36-1711	http://www8.ocn.ne.jp/~hosomicl/i index.htm
みずのメンタルクリニック	880-0921	宮崎市大字赤江830-1	0985-50-5771	0985-50-5772	
	883-0041	日向市北町1-2	0982-50-0855	0982-50-0855	



平成19年10月 発行

精神保健福祉みやざき

(第47号)

編集発行 宮崎県精神保健福祉連絡協議会

〒880-0032 宮崎市霧島1-1-2

TEL 0985-27-5663

FAX 0985-27-5276

印刷製本 株式会社 ながと

〒882-0856 延岡市出北4-2479

TEL 0982-33-4001

編集委員会 委員名簿

中央保健所健康づくり課

日南保健所健康づくり課

都城保健所健康づくり課

小林保健所健康づくり課

高鍋保健所健康づくり課

日向保健所健康づくり課

延岡保健所健康づくり課

高千穂保健所健康づくり課

精神保健福祉センター

主 幹

副主幹

主任保健師

主任技師

主任保健師

技 師

主任保健師

主任技師

主任保健師

主任保健師

副所長

主幹兼主任

技術員

蛭原 幸 子

蓑毛 真寿美

工藤 イサ子

日高 香 織

松尾 祐 子

西 真季江

蛭原 夕起子

田村 ひろみ

池袋 貞 子

工藤 裕 子

奥 泰 裕

吉田 寿 生

石 黒 昇一郎

精神保健福祉

みやがき



秋の味覚うんしゅうみかん

宮崎県精神保健福祉連絡協議会



古紙配給率70%再生紙を使用しています